

新型コロナウイルス感染の拡大と 航空産業の状況

航空労組連絡会

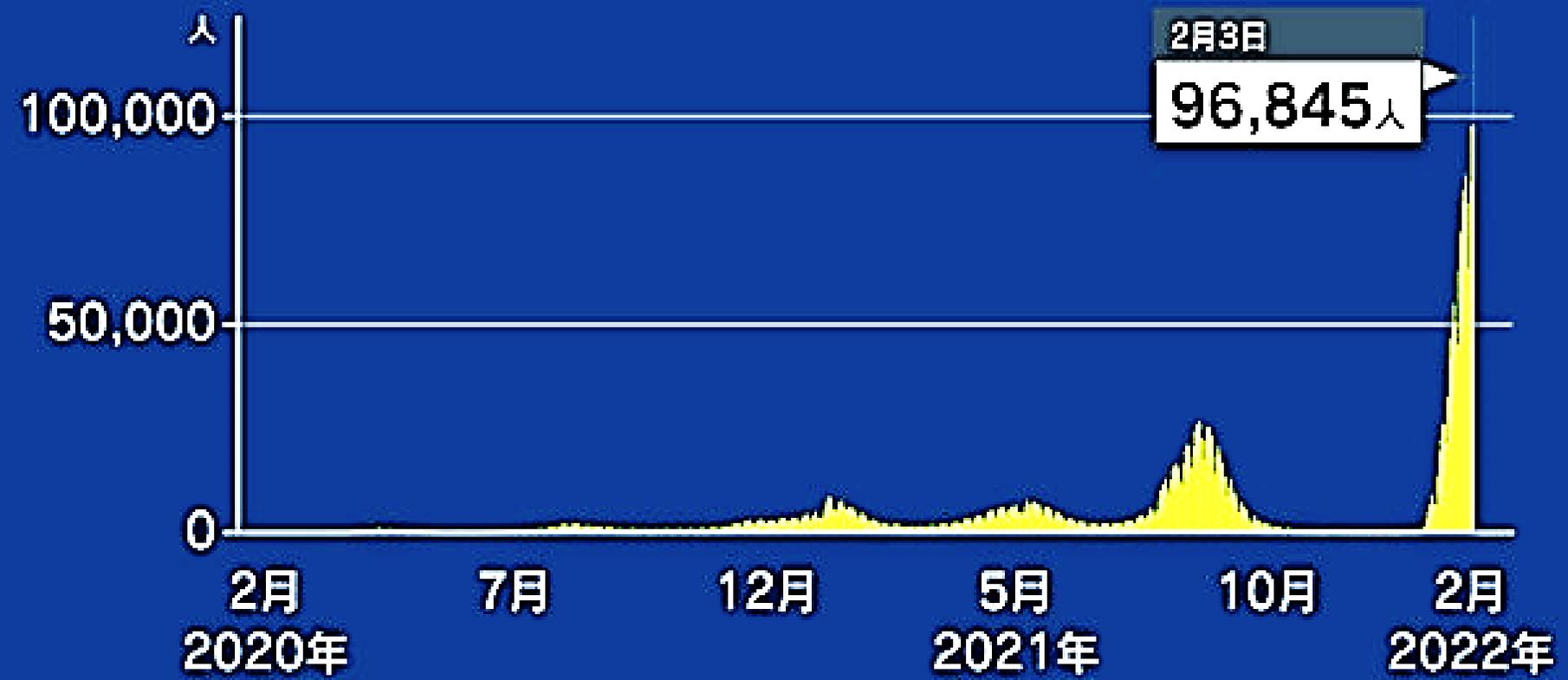
事務局長 津恵 正三

主な内容

1. 感染拡大の状況、ワクチンの接種状況
2. 感染拡大の影響
3. 感染拡大の航空への影響(決算報告等から)
 - 輸送実績
 - 収支状況等
 - 有利子負債や内部留保等
 - 経営の安全性・健全性
4. コスト削減で人員や人件費、賃金は
 - 設備投資
 - 人員や賃金は
5. 今後の見通しと、私たちの運動

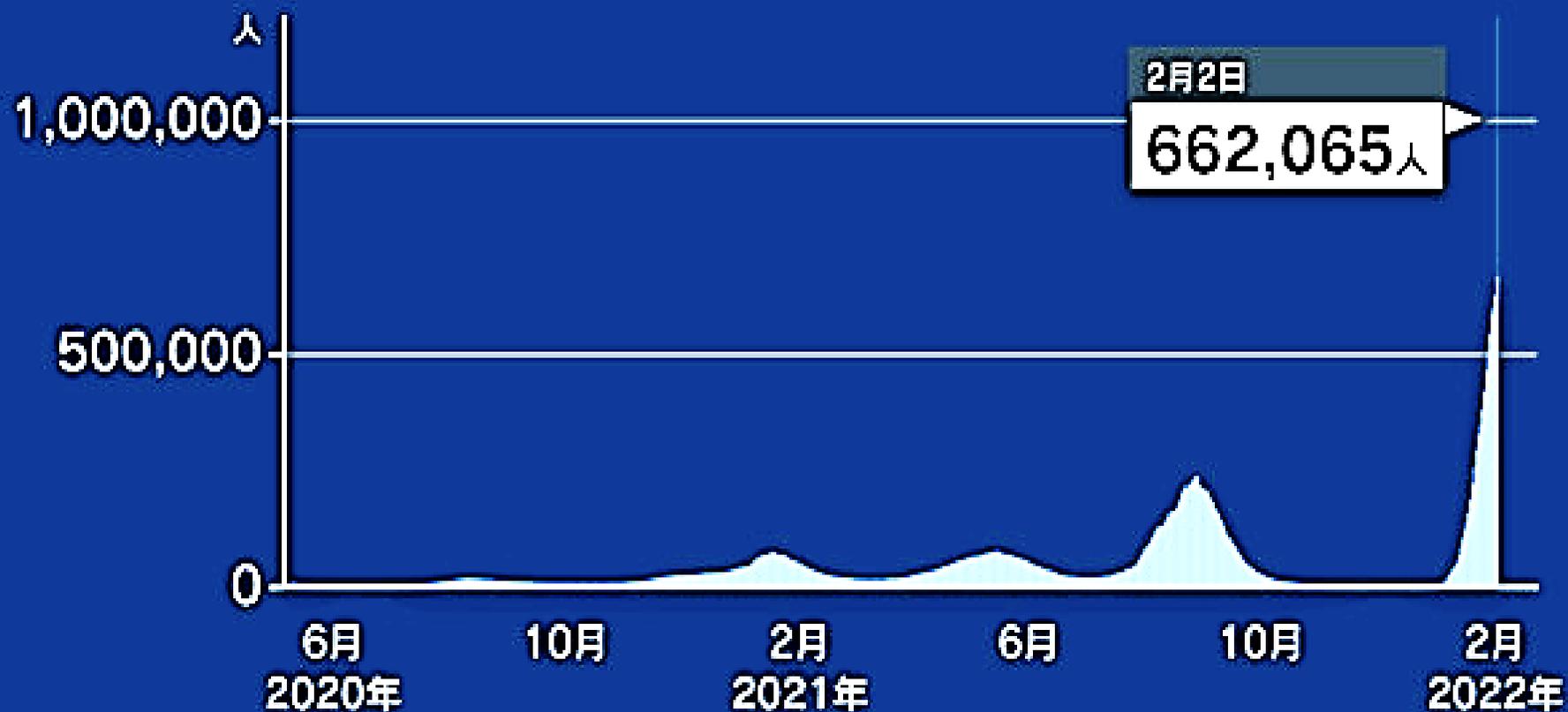
1. 感染拡大の状況、ワクチンの接種状況

国内の感染者数（1日ごと）



NHKまとめ 2月3日23:59時点
クルーズ船を除く・ただし帰宅後の感染確認は含む

入院中や療養中など



※検査・チャーター機・クルーズ船除く 厚生労働省オープンデータより 2月2日までの情報を表示

日本国内ワクチン接種 全人口に占める割合^{NHK}

1回目 (101,361,954人) 80.0%

2回目 (99,837,916人) 78.8%

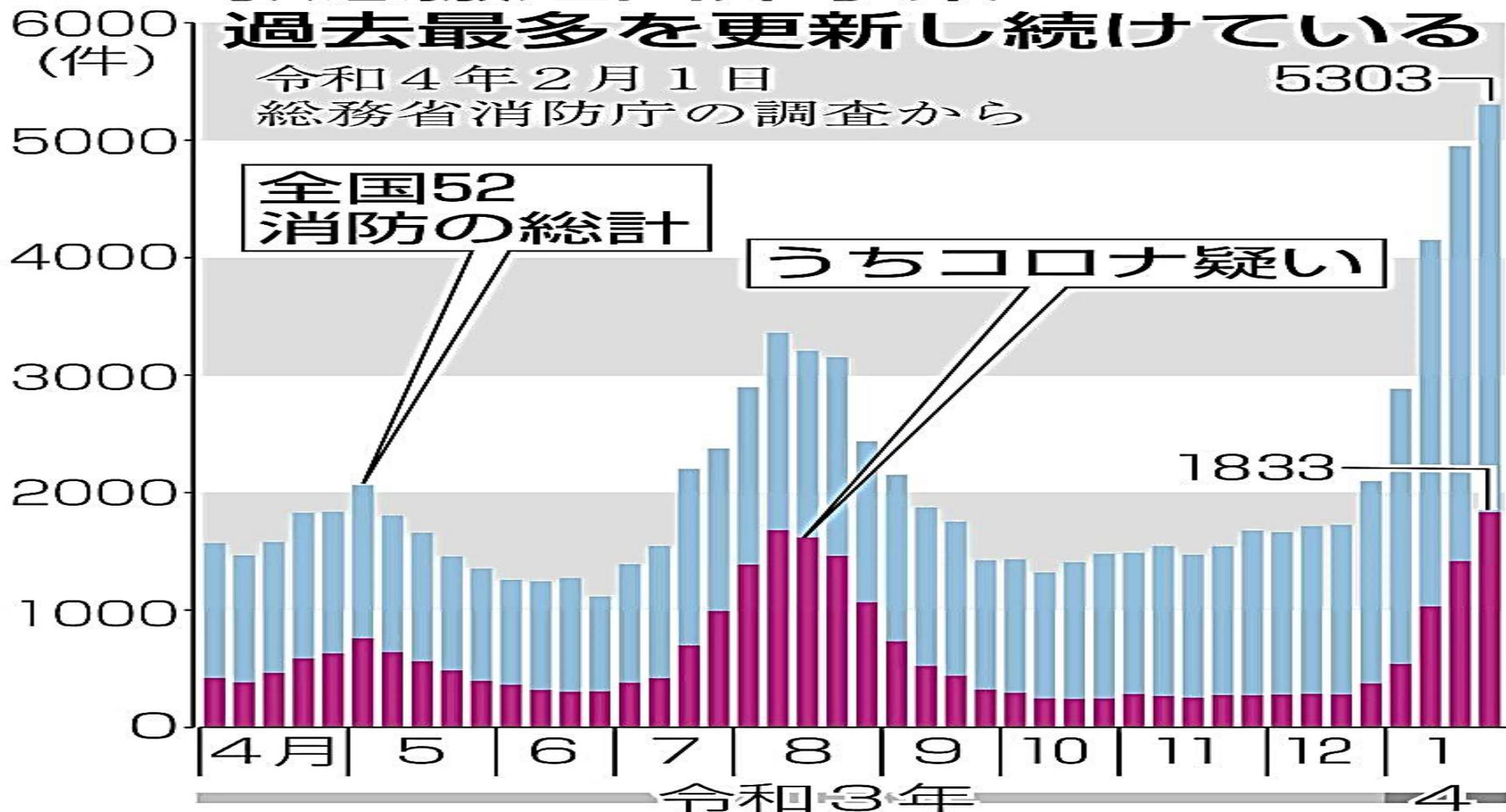
3回目 (5,551,258人) 4.4%

首相官邸の情報をもとに表示 2月3日公表

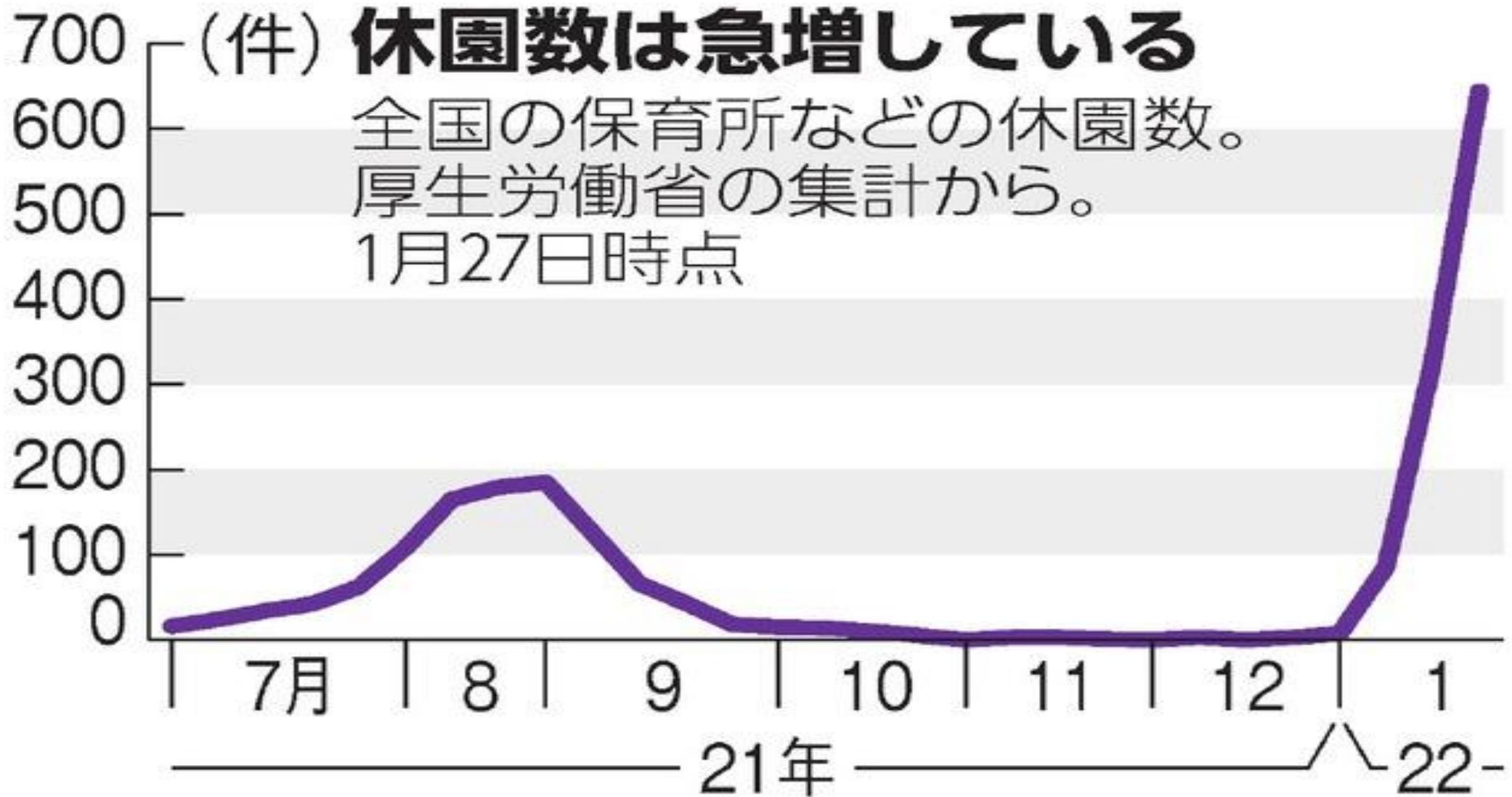
2. 感染拡大の影響

救急搬送困難事案は 過去最多を更新し続けている

令和4年2月1日
総務省消防庁の調査から



産経新聞2022/02/02



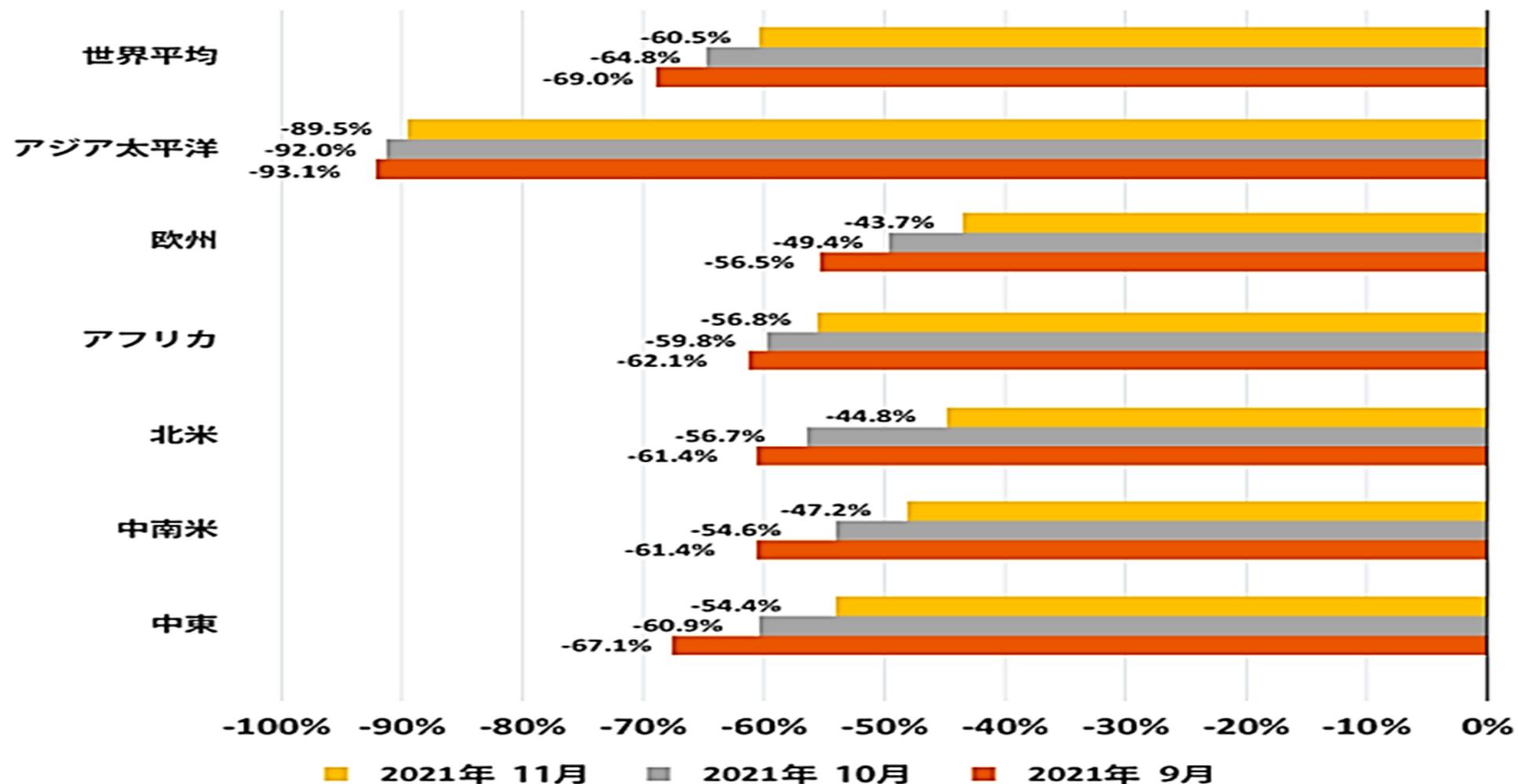
20220131朝日新聞

3. 感染拡大の航空への影響(決算報告等から)

(1) 輸送実績の推移



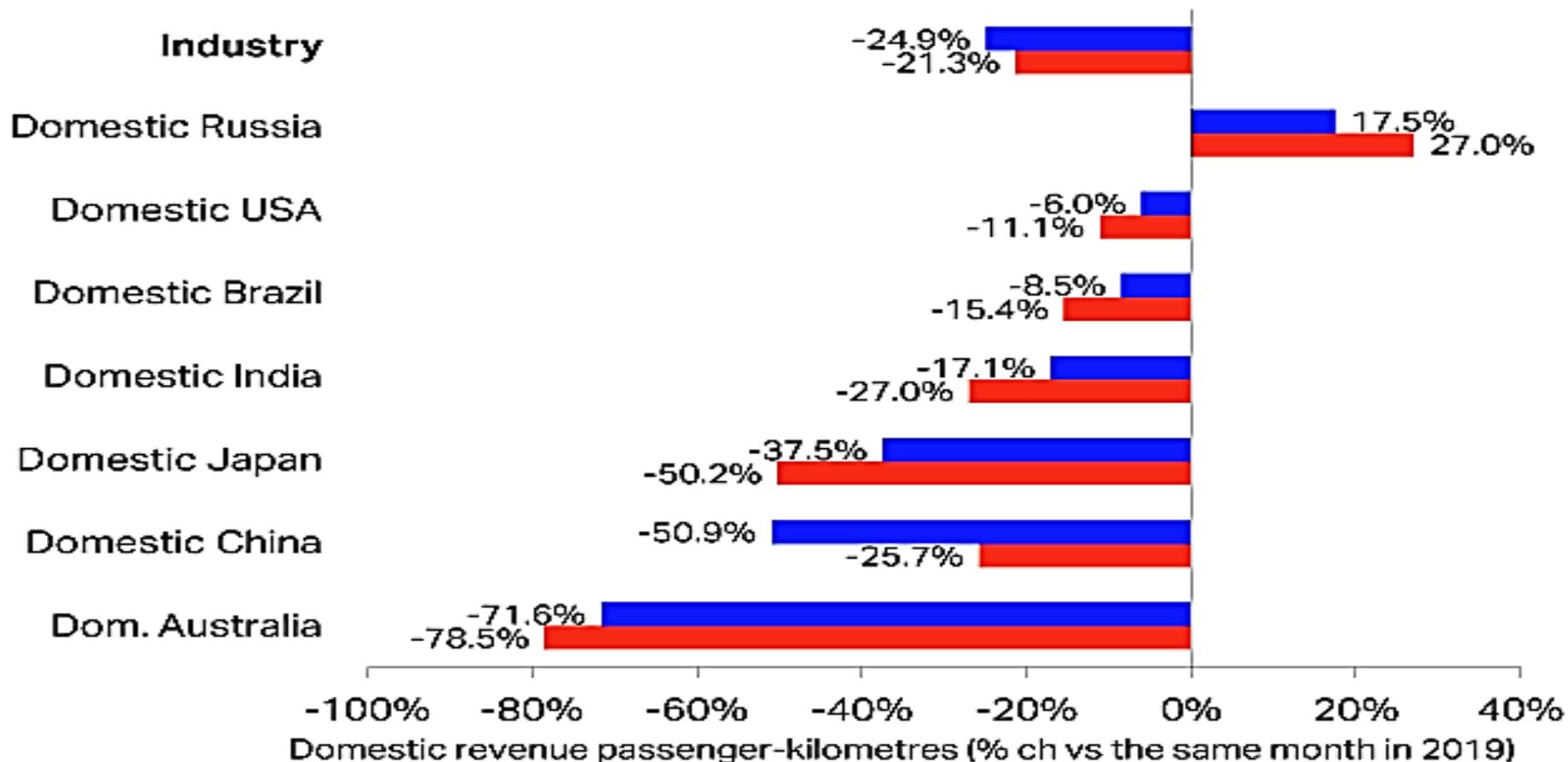
国際線の RPK 伸び率 (2019 年同月比)



出典：IATA * RPK=有償旅客による飛行総距離

国内線RPKの伸び率(19年対比)

■ Nov 2021 ■ Oct 2021

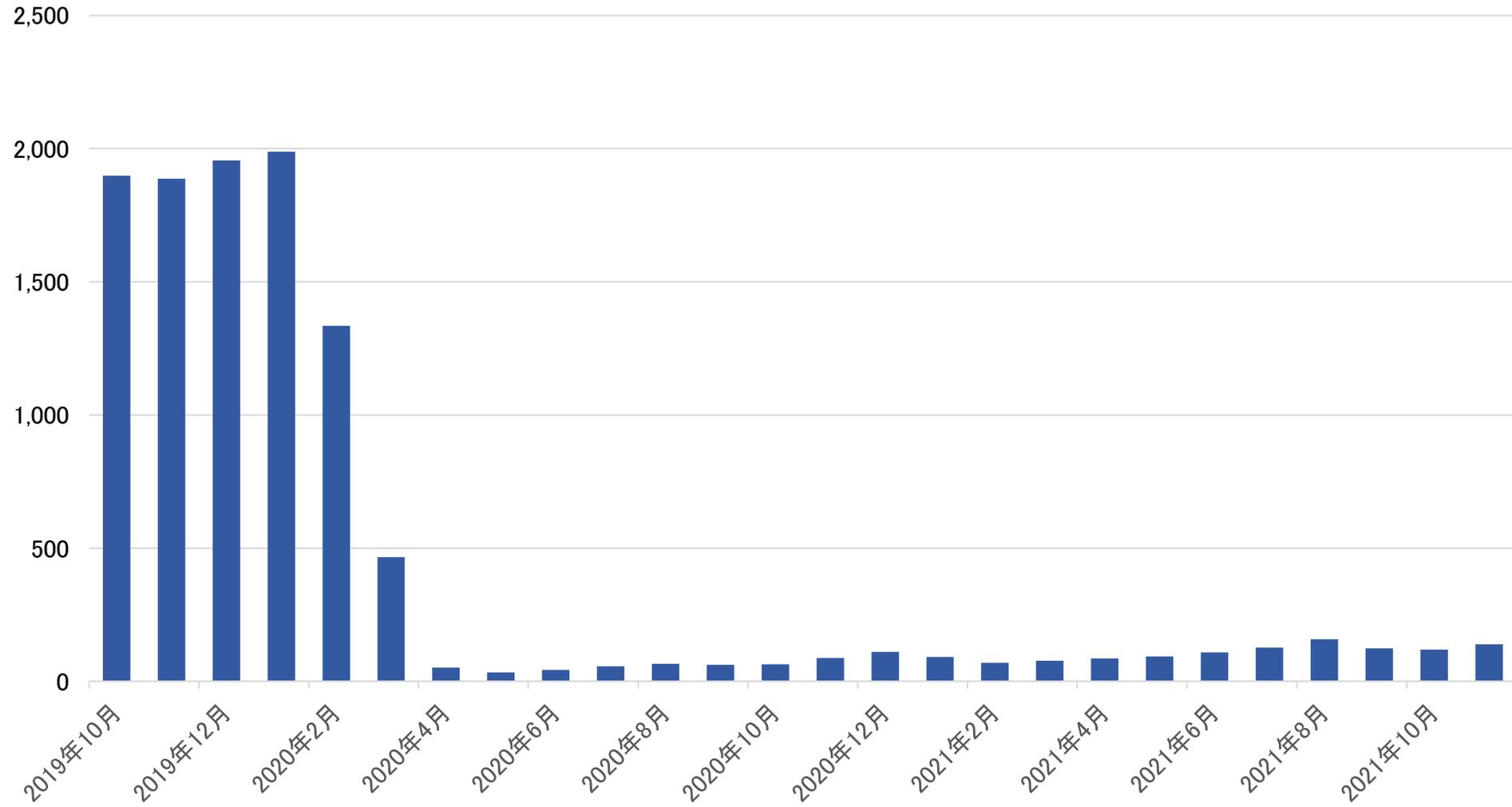


Sources: IATA Economics, IATA Monthly Statistics

IATAの21年11月旅客輸送実績から

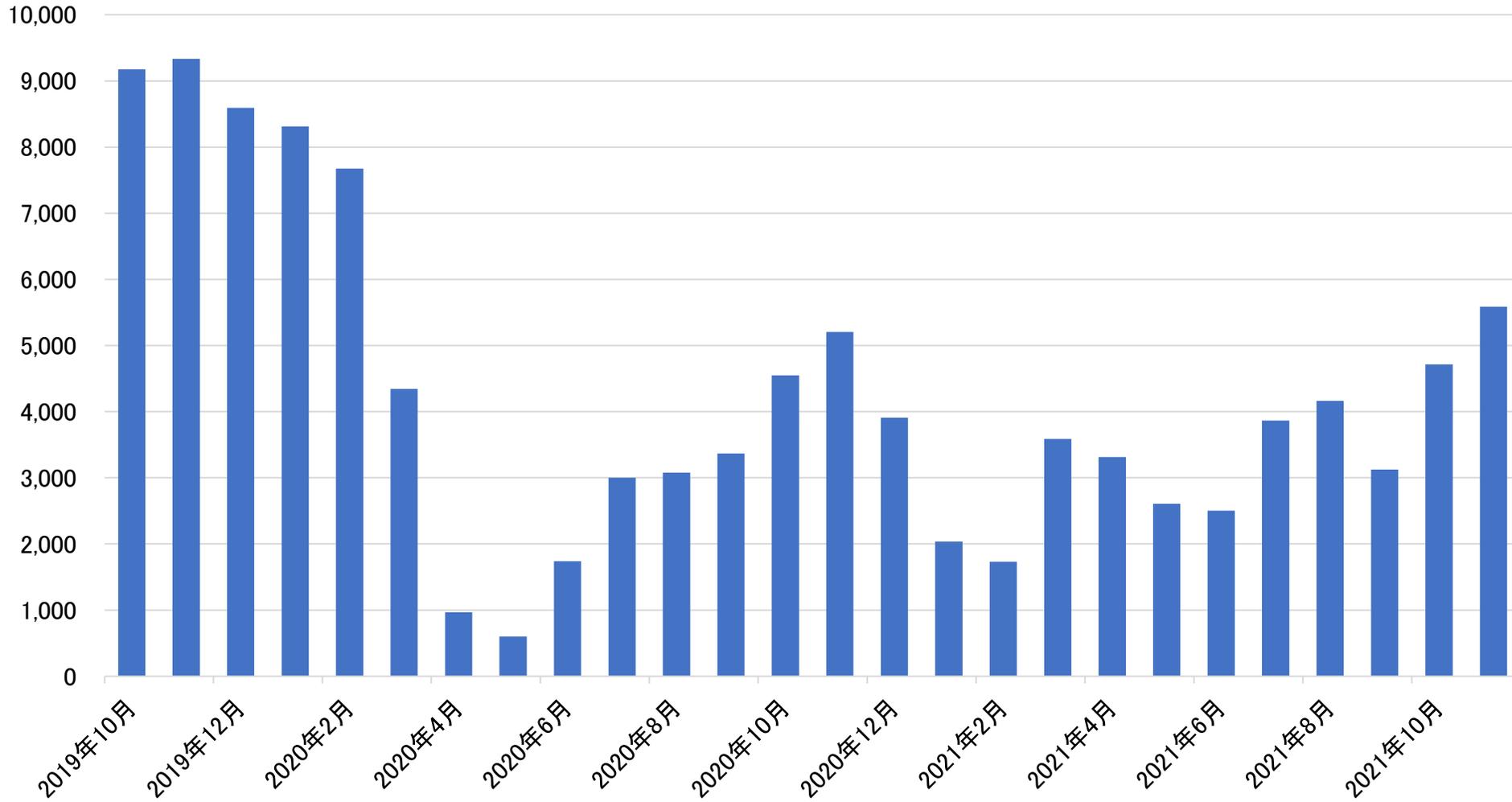
本邦航空会社による国際線旅客月次輸送実績の推移(千人)

(交通省月例経済報告1月号より作成)



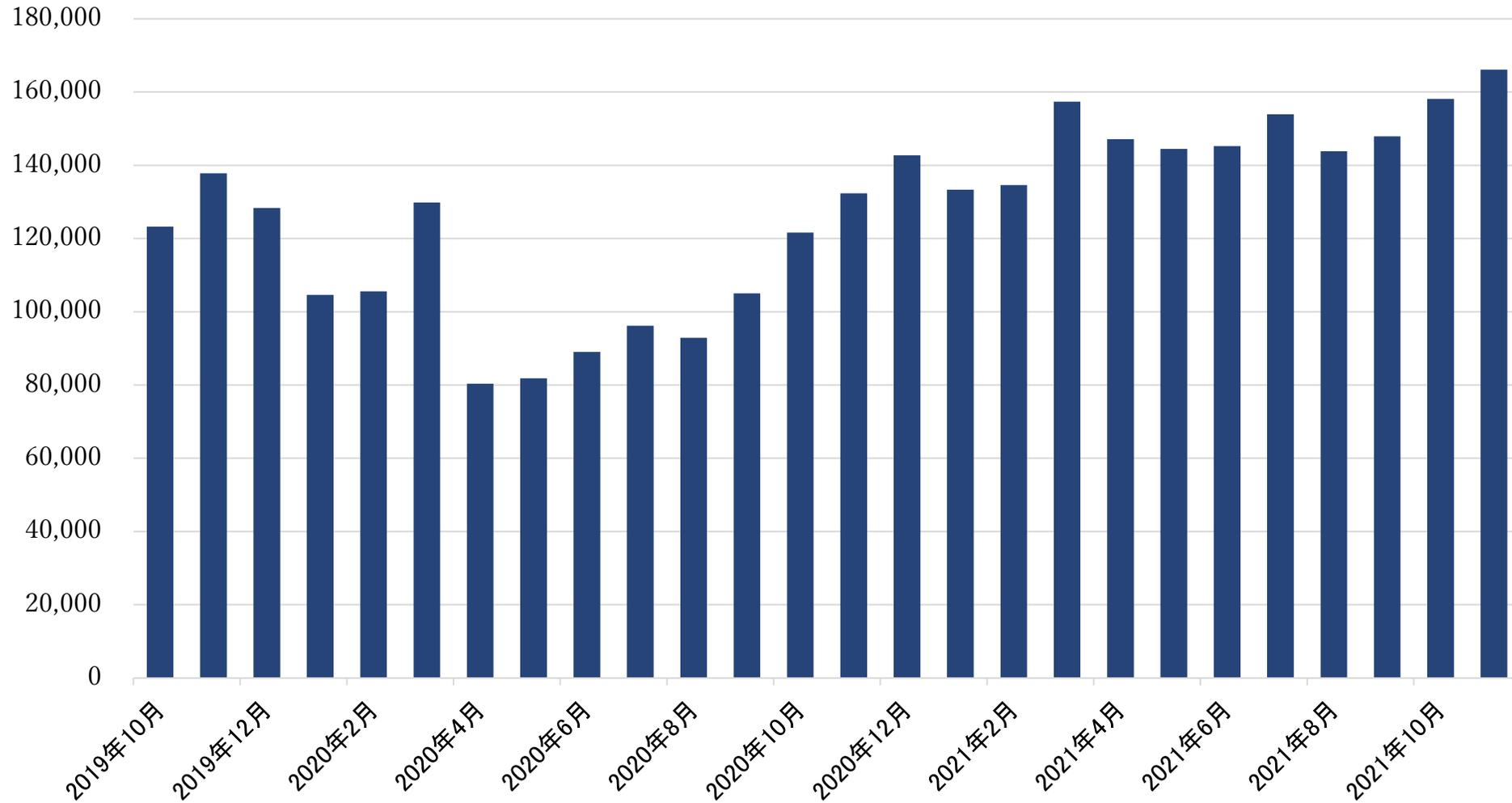
本邦航空会社による国内線旅客月次輸送実績の推移(千人)

(国土交通省月例経済報告1月号より作成)



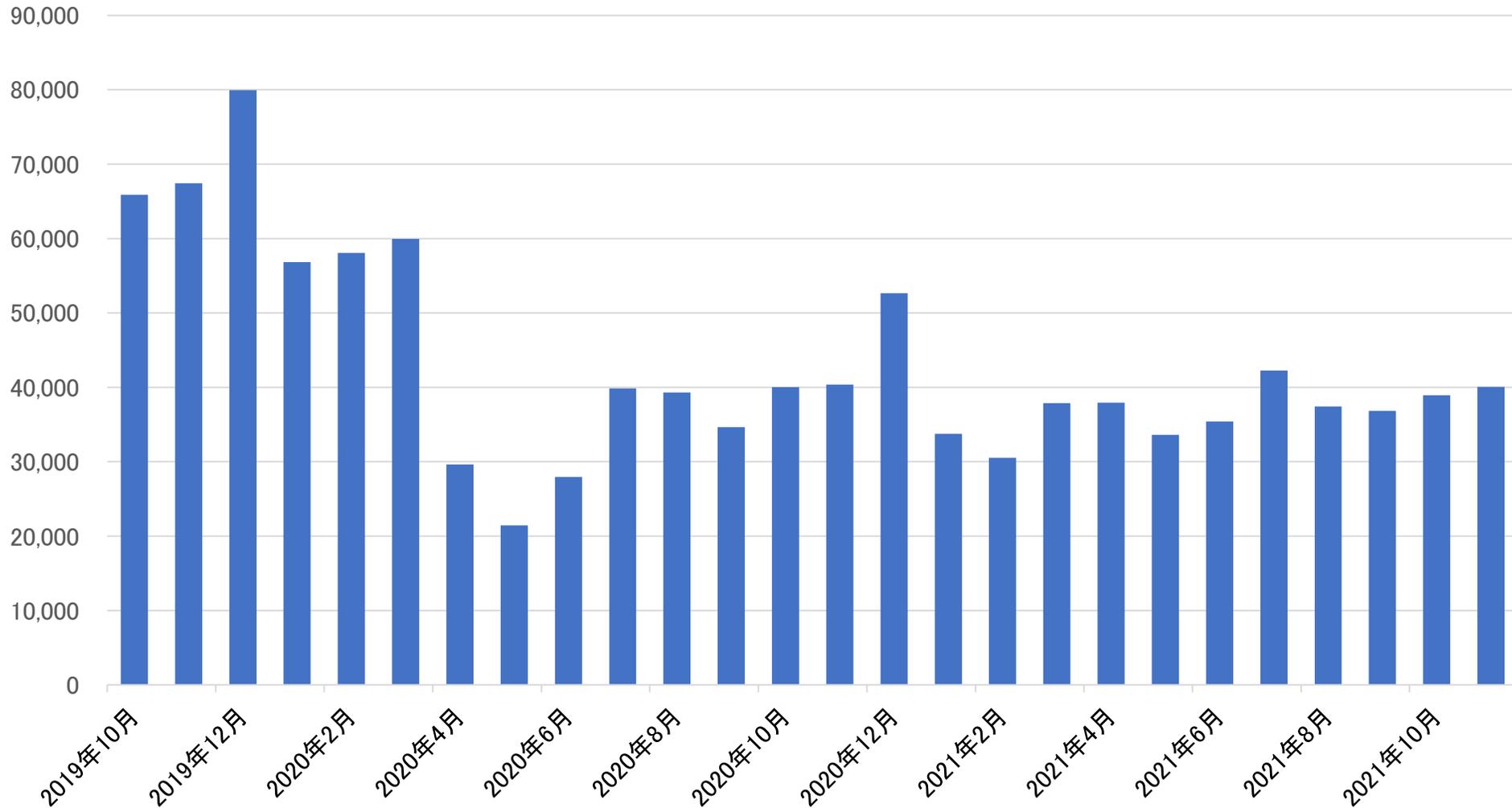
本邦航空会社による国際線貨物月次輸送実績の推移(t)

(国土交通省月例経済報告1月号より作成)



本邦航空会社による国内線貨物月次輸送実績の推移(t)

(国土交通省月例経済報告1月号より作成)



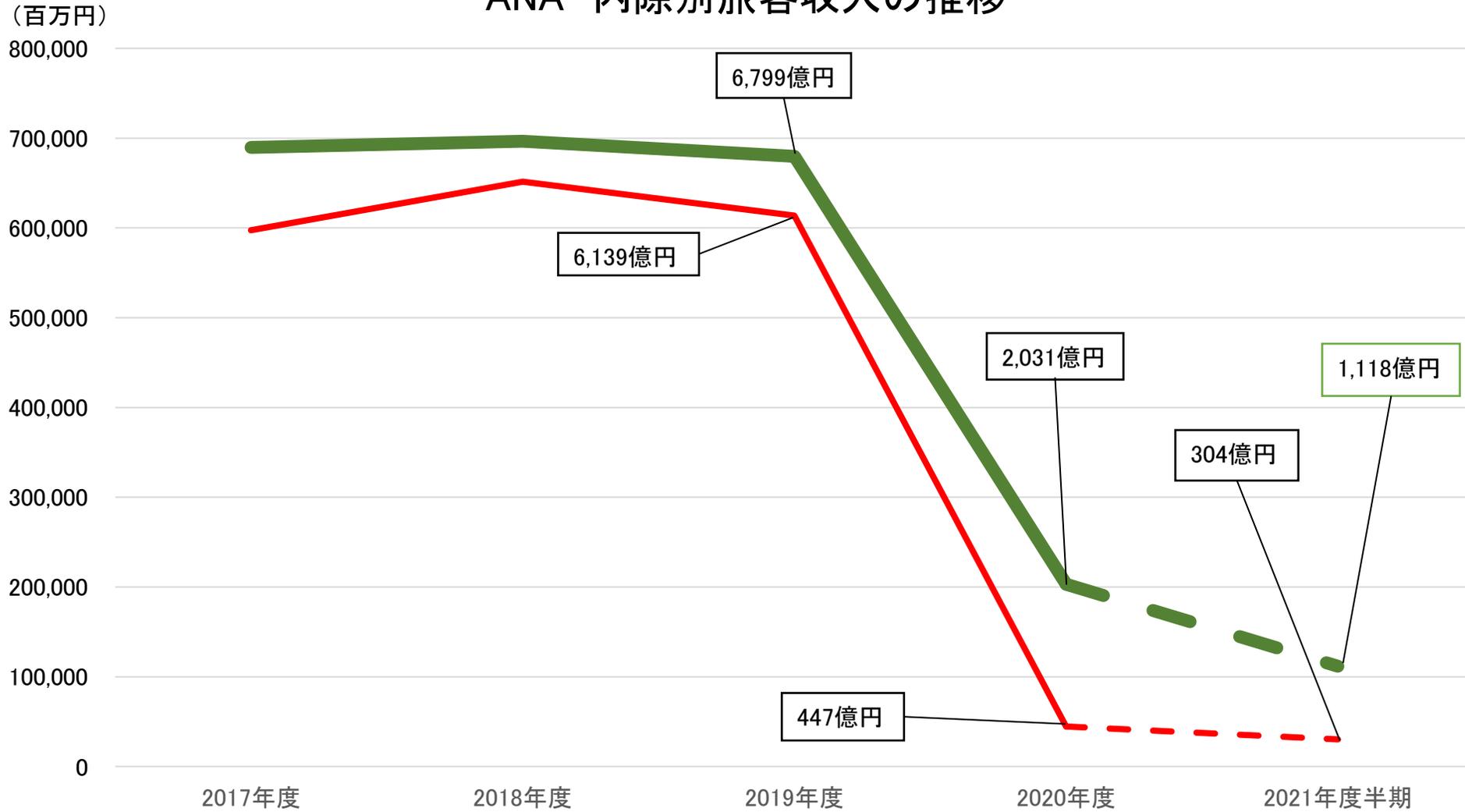
3. 感染拡大の航空への影響(決算報告等から)

(2) 航空各社の収支の状況

航空各社の売上高・純損益

	19年度決算		20年度決算		21年度半期決算		参考 20年度半期決算	
	売上高	純損益	売上高	純損益	売上高	純損益	売上高	純損益
ANA	19,742	276	7,286	-4,046	4,311	-988	2,918	-1,884
JAL	14,112	534	4,812	-2,878	2,906	-1,049	1,947	-1,612
SKY	903	-12	340	-163				
AIRDO	455	4	174	-121	115	-19	78	-67
SNA	418	9	202	-76	115	-17	81	-54
SFJ	404	-4	182	-100	91	-26	78	-64

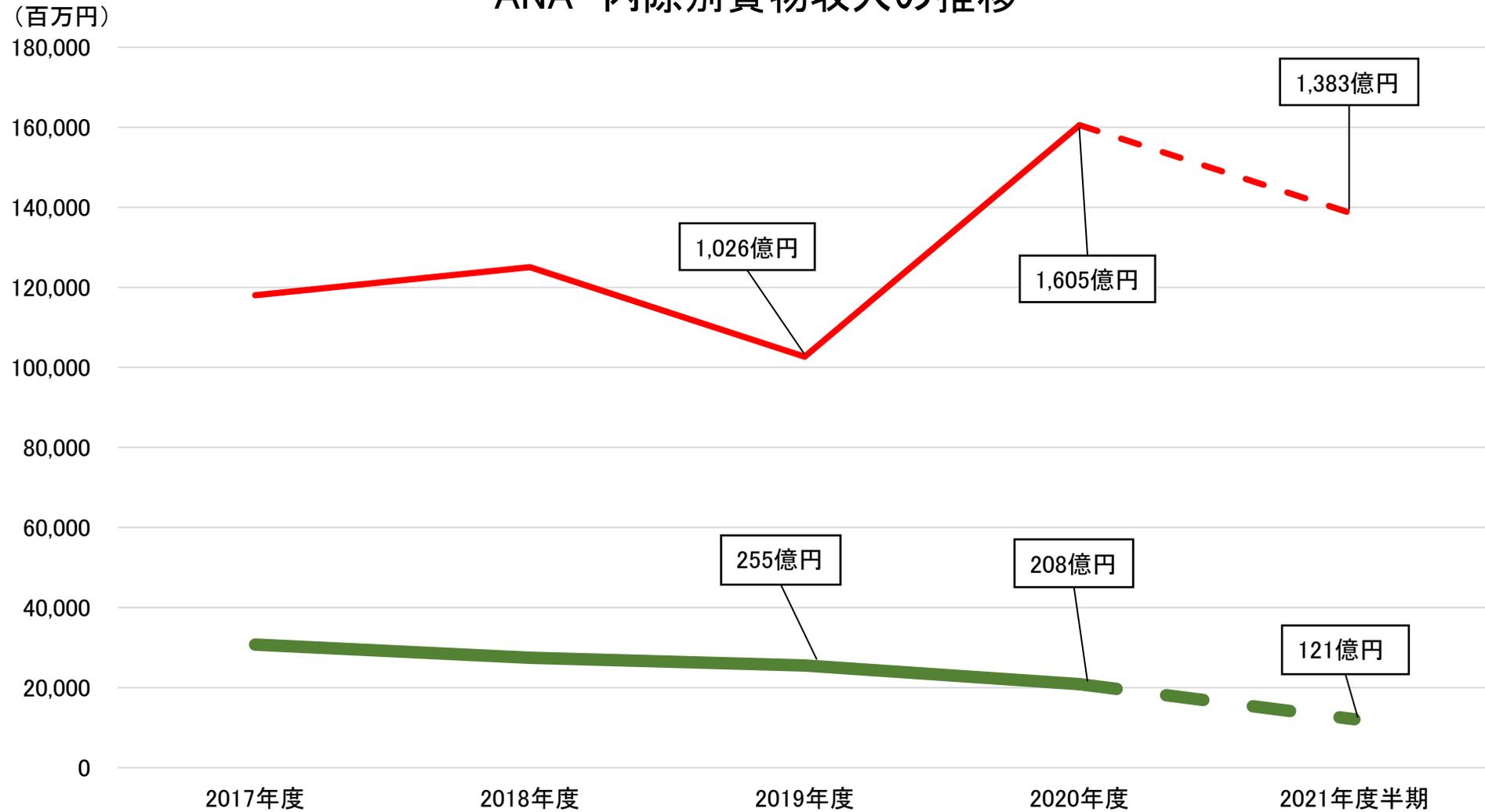
ANA 内際別旅客収入の推移



出所: 有価証券報告書、決算短信をもとに作成

— 国内 — 国際

ANA 内際別貨物収入の推移

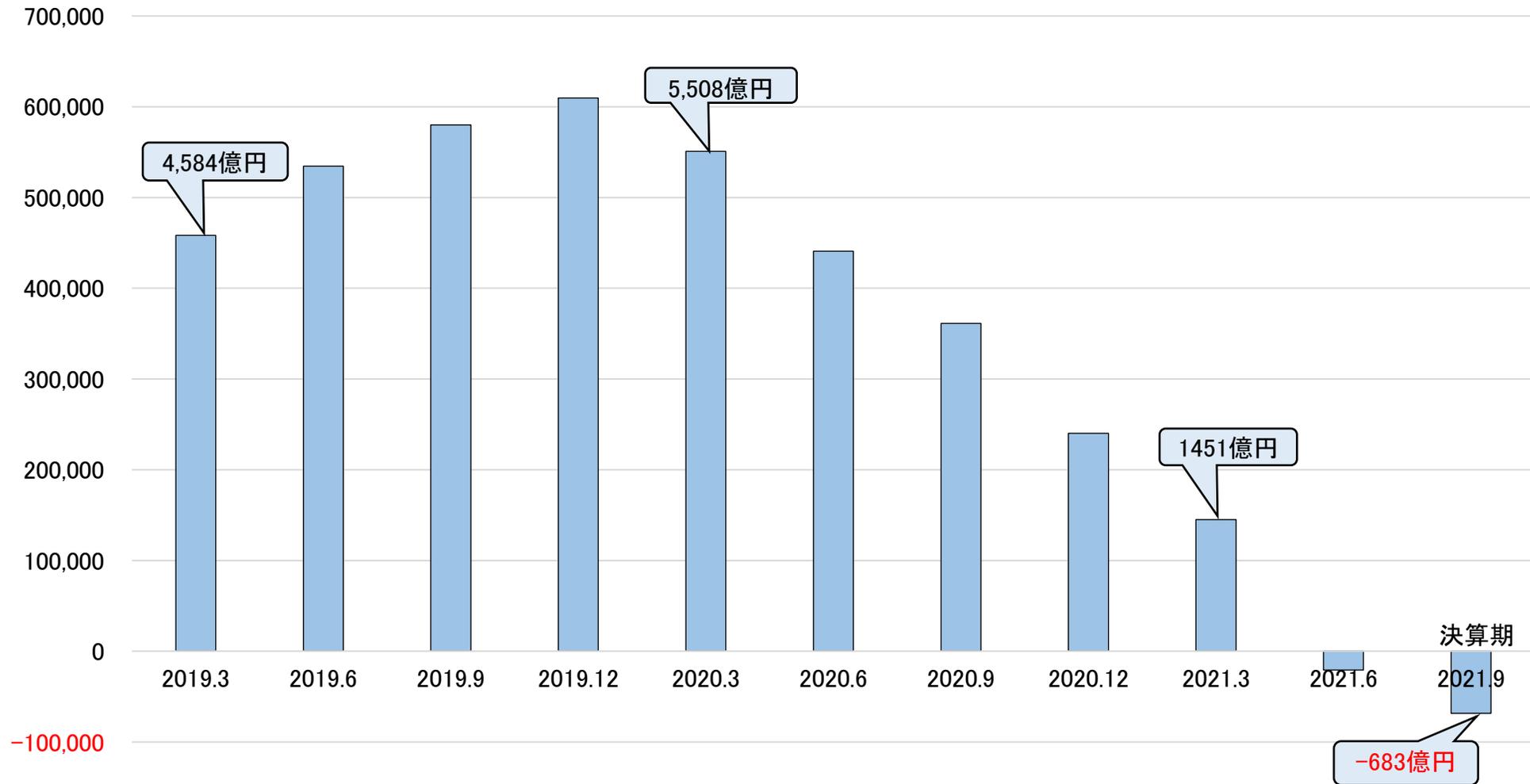


出所: 有価証券報告書、決算短信をもとに作成

— D貨物 — I貨物

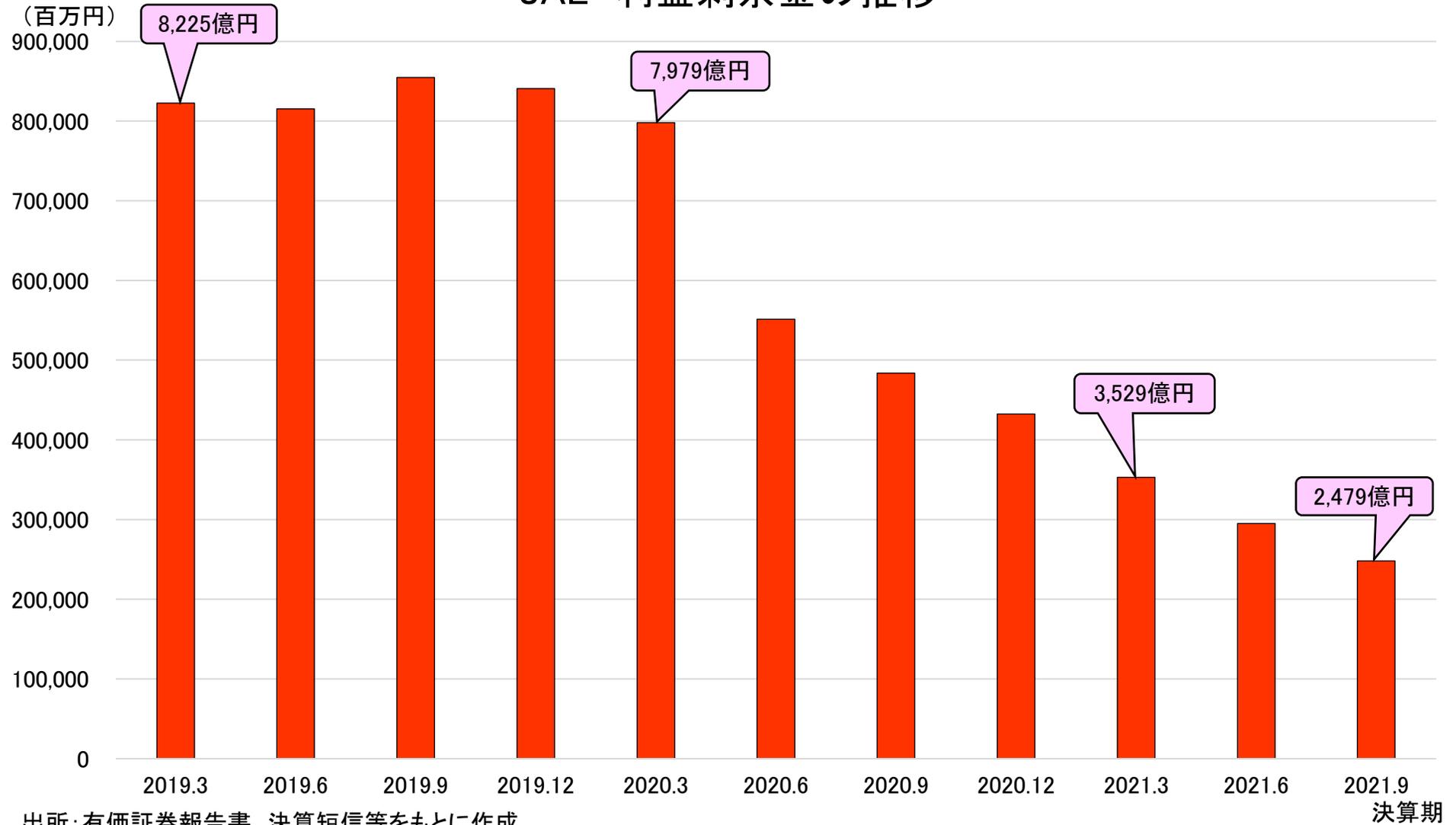
(百万円)

ANA 利益剰余金の推移

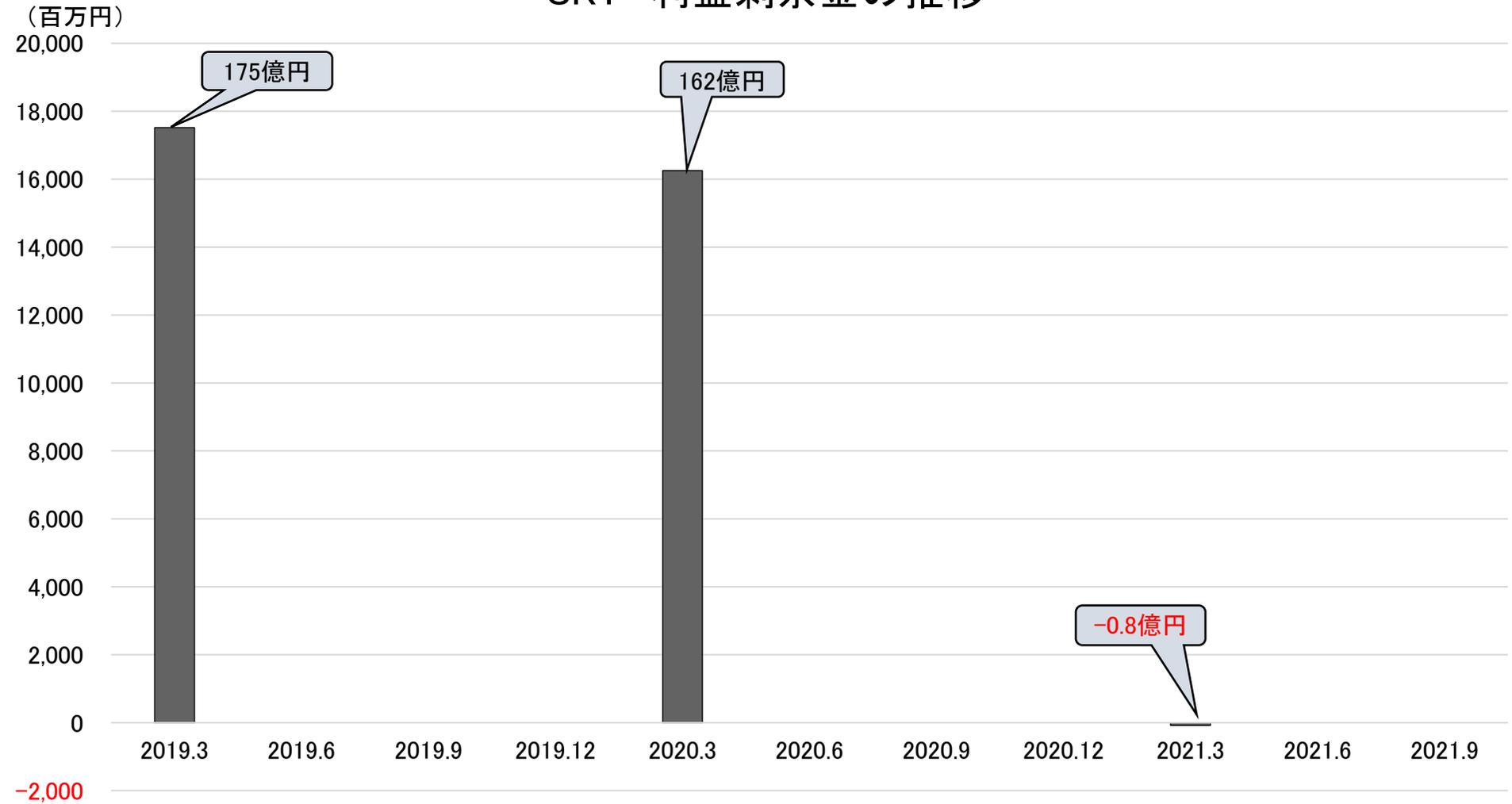


出所: 有価証券報告書をもとに作成

JAL 利益剰余金の推移



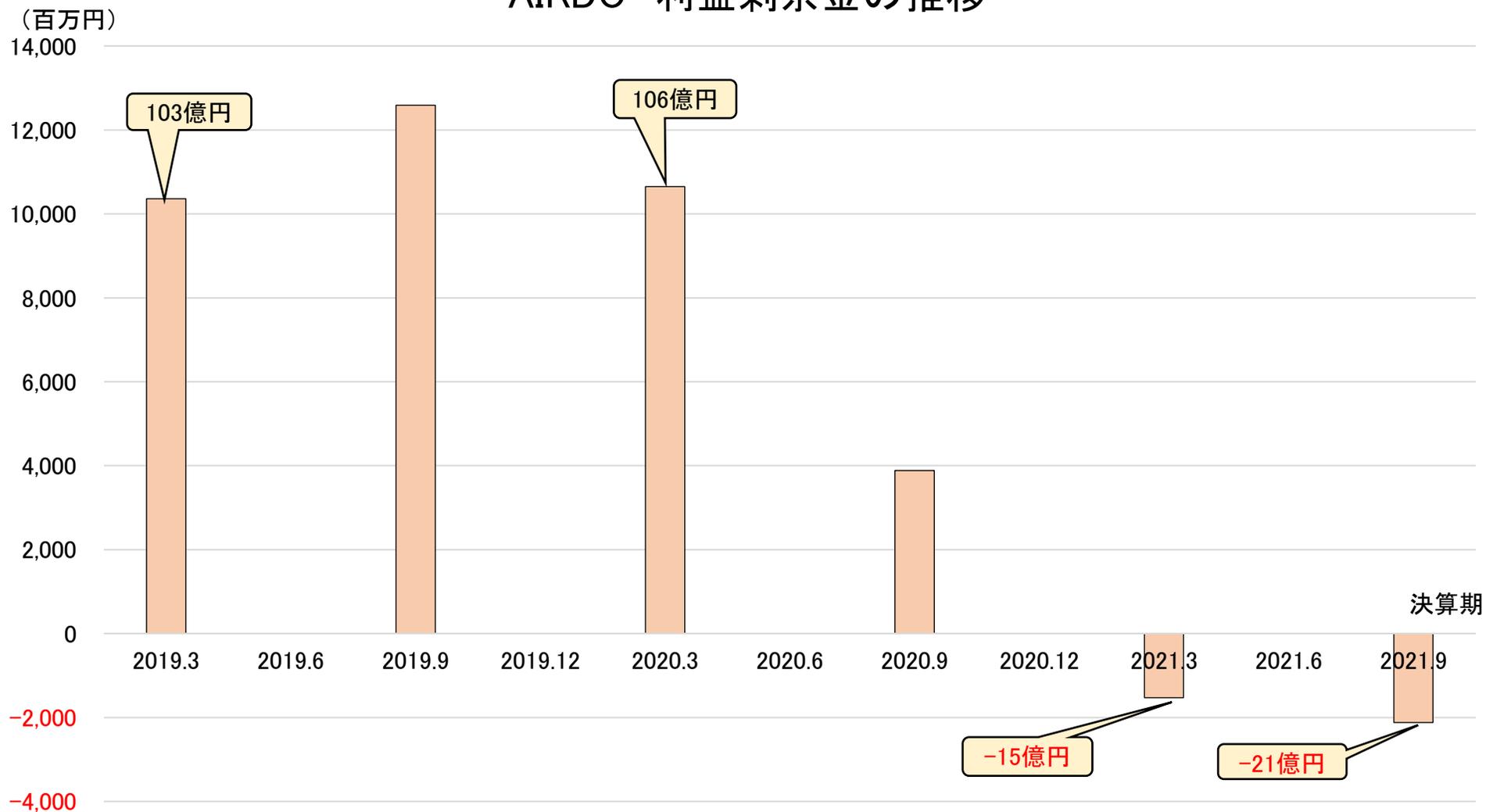
SKY 利益剰余金の推移



出所: 決算公告等をもとに作成

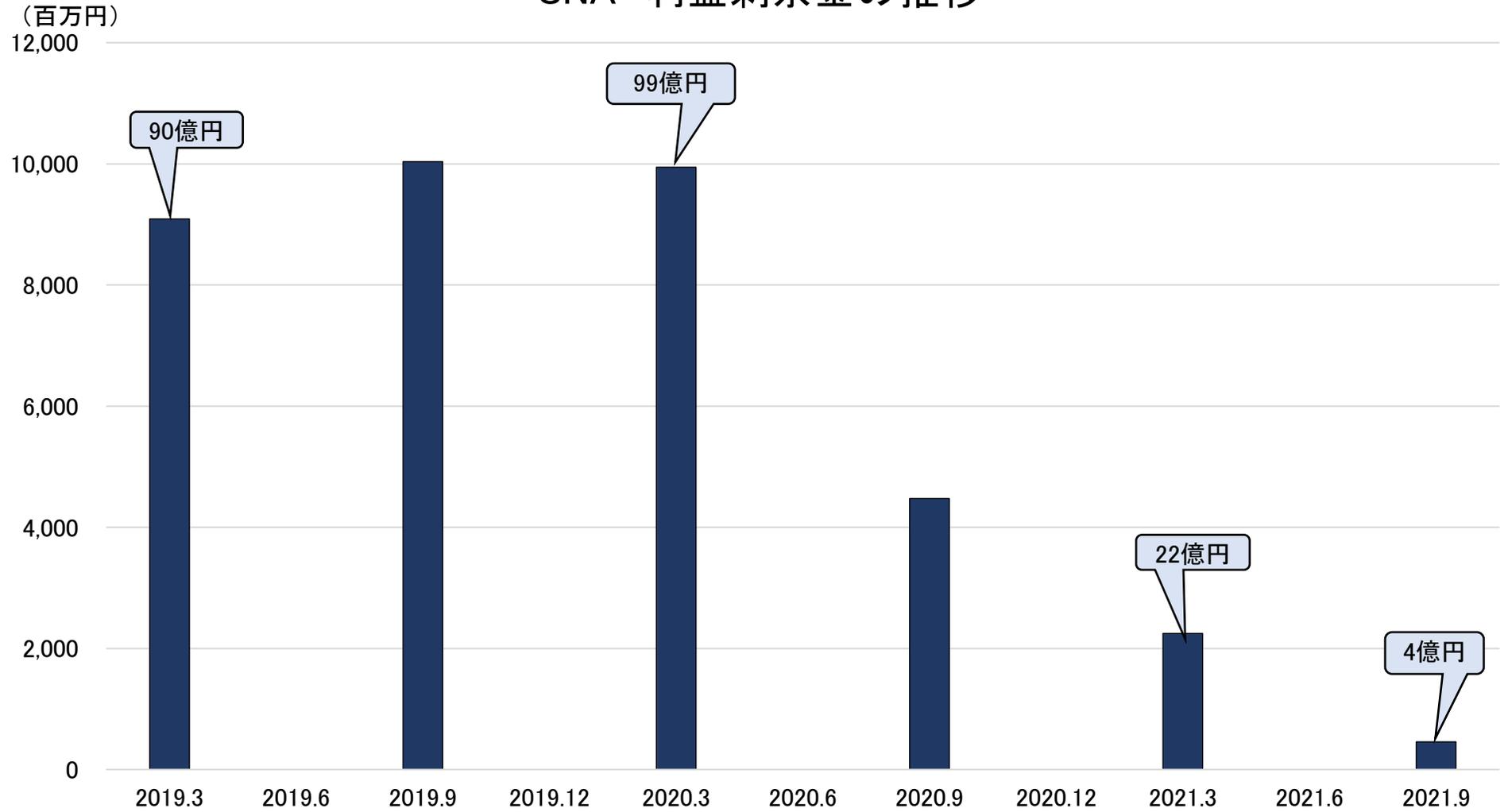
決算期

AIRDO 利益剰余金の推移



出所: 有価証券報告書、決算短信等をもとに作成

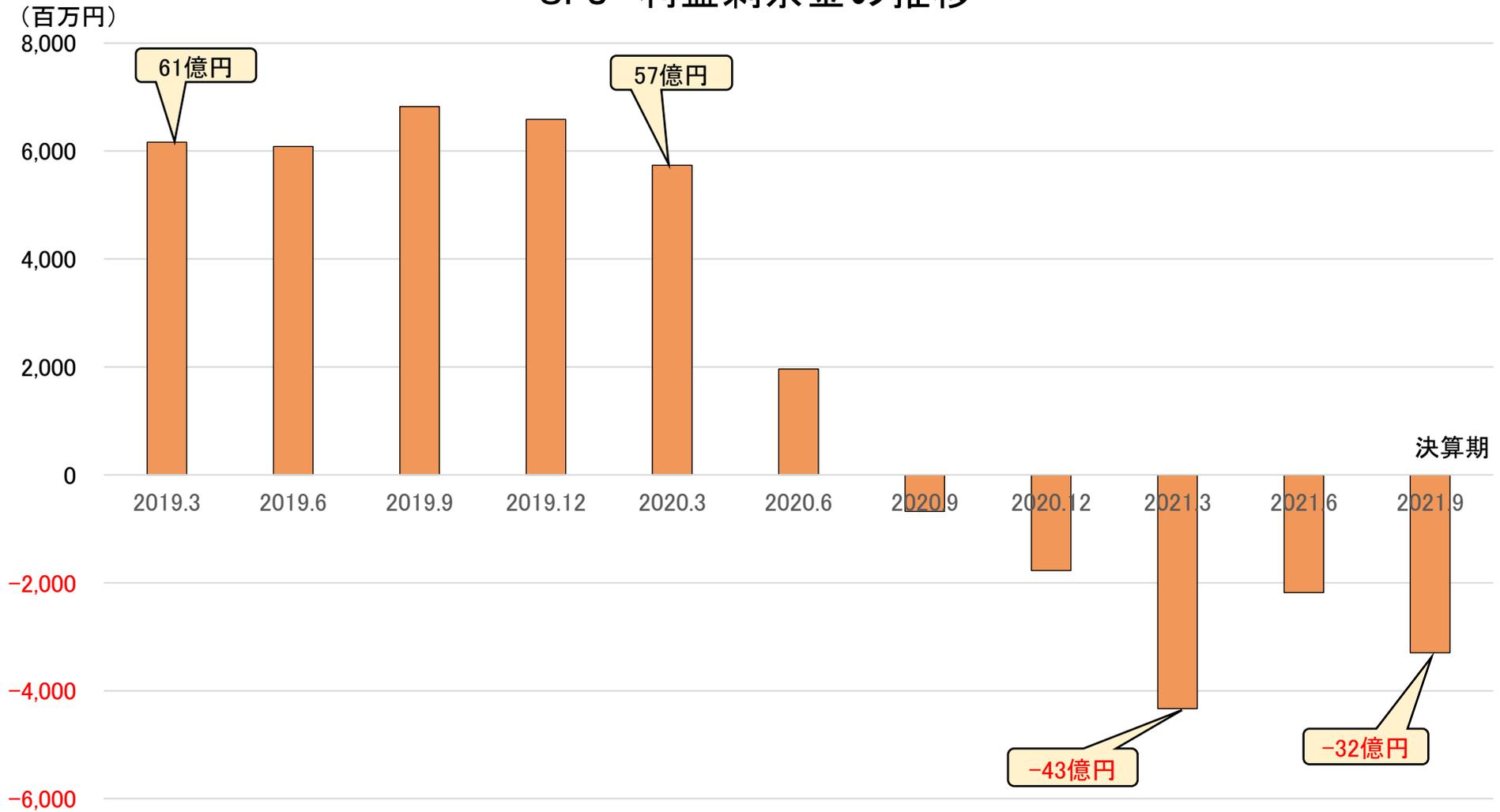
SNA 利益剰余金の推移



出所: 有価証券報告書、決算短信等をもとに作成

決算期

SFJ 利益剰余金の推移

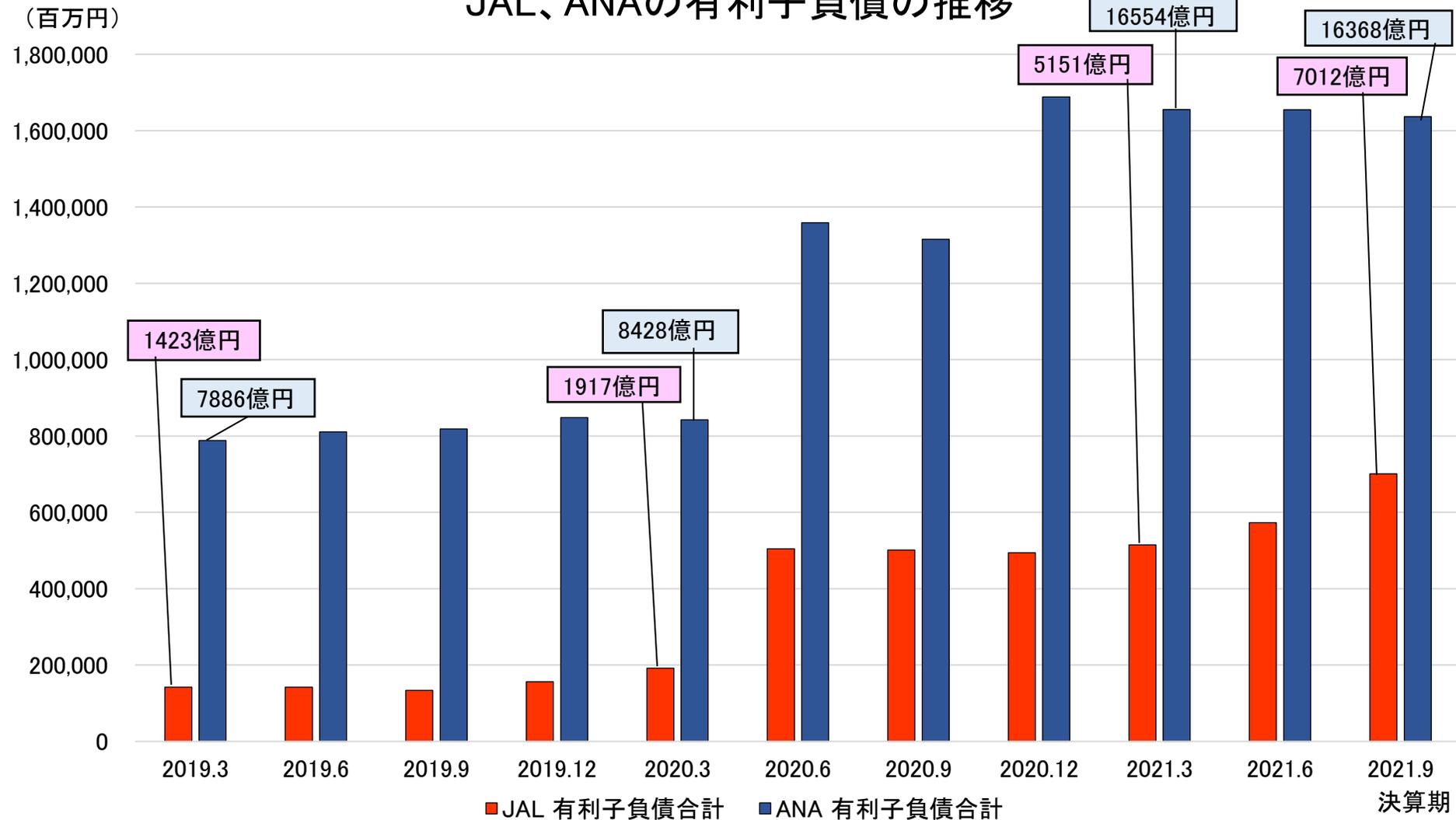


出所: 有価証券報告書、決算短信等をもとに作成

3. 感染拡大の航空への影響(決算報告等から)

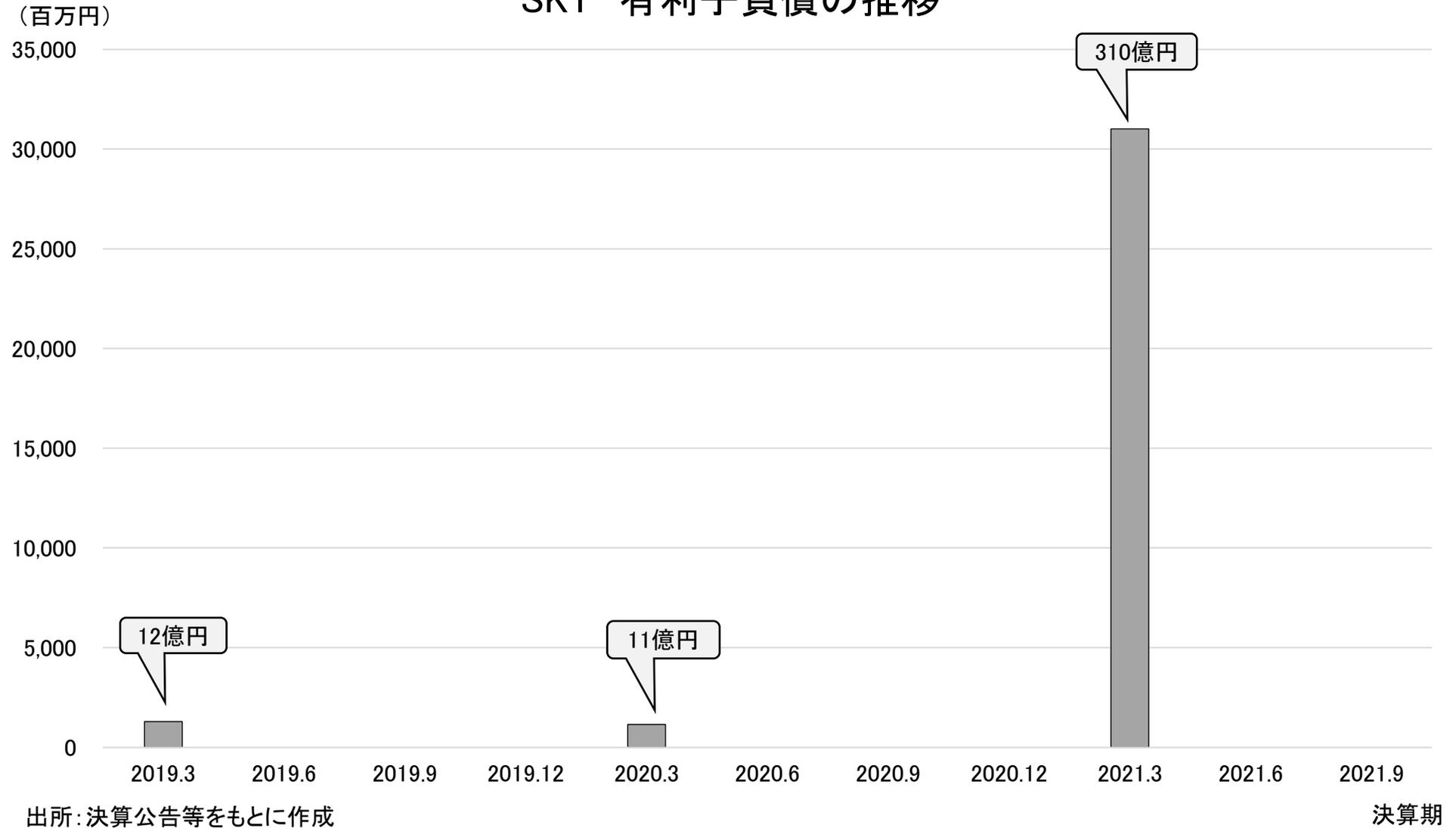
(3) 有利子負債や内部留保等の状況

JAL、ANAの有利子負債の推移

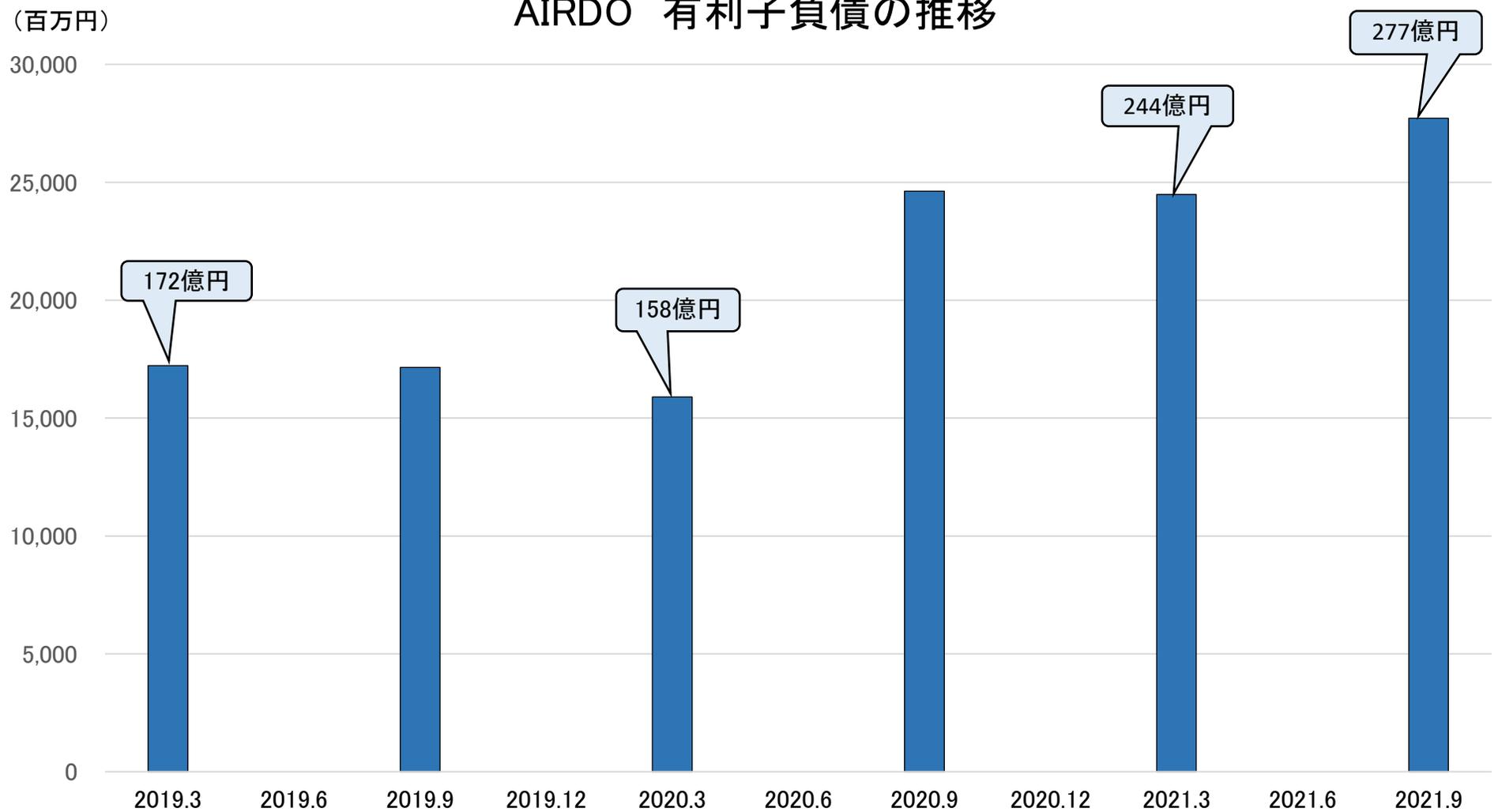


出所：各社の有価証券報告書及び決算短信をもとに作

SKY 有利子負債の推移



AIRDO 有利子負債の推移

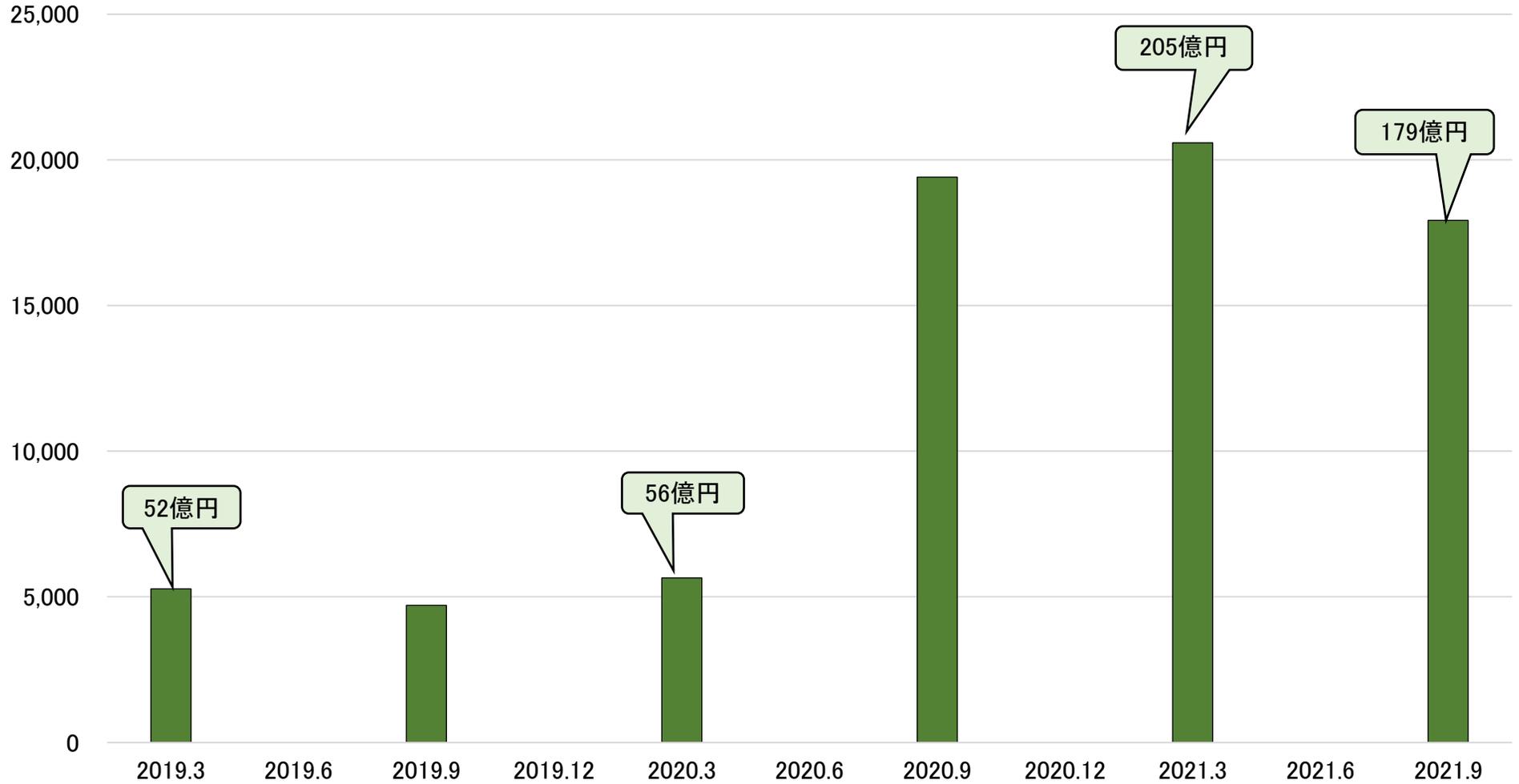


出所: 決算短信等をもとに作成

決算期

SNA 有利子負債の推移

(百万円)

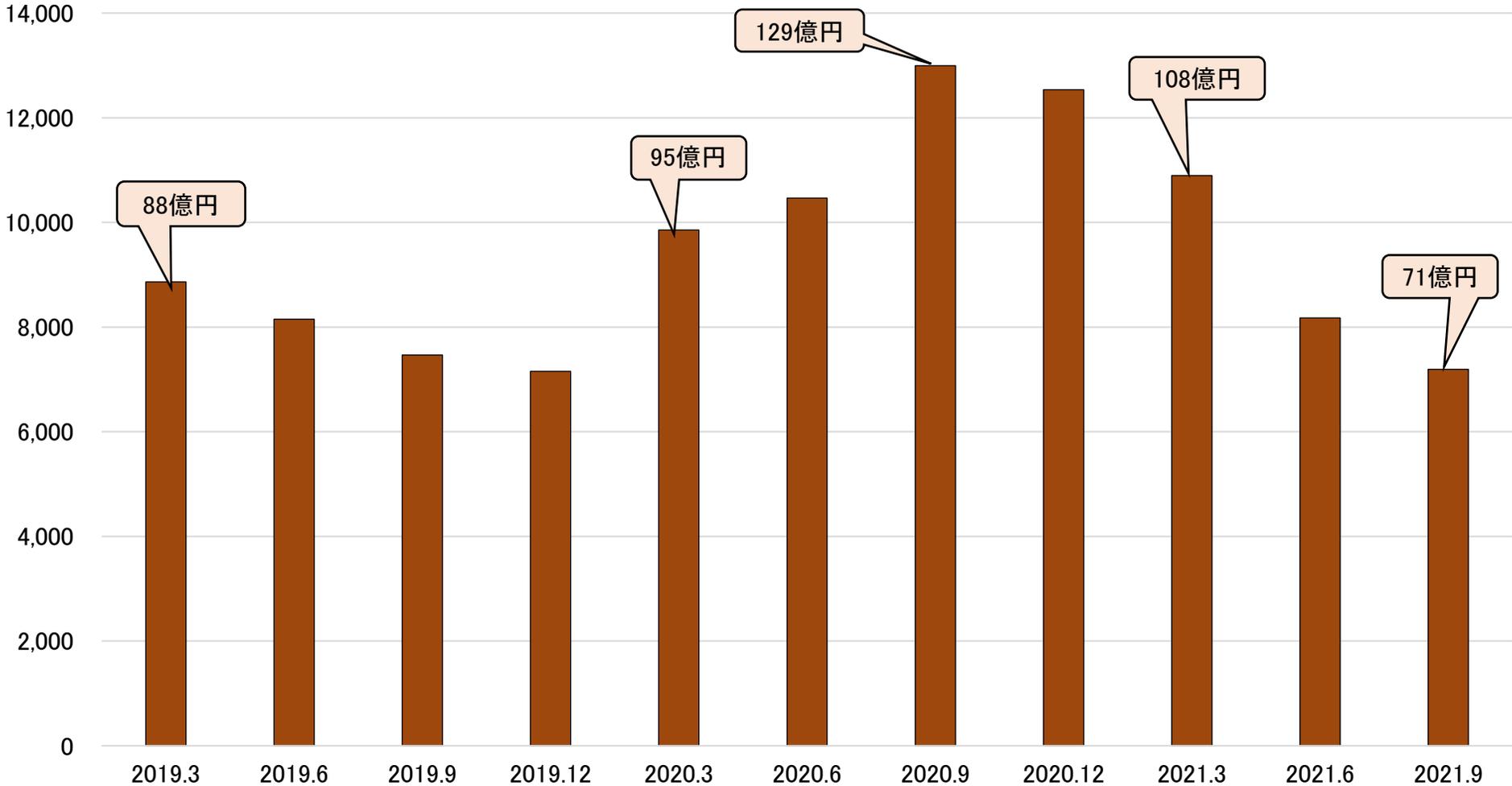


出所: 有価証券報告書、決算短信等をもとに作成

決算期

SFJ 有利子負債の推移

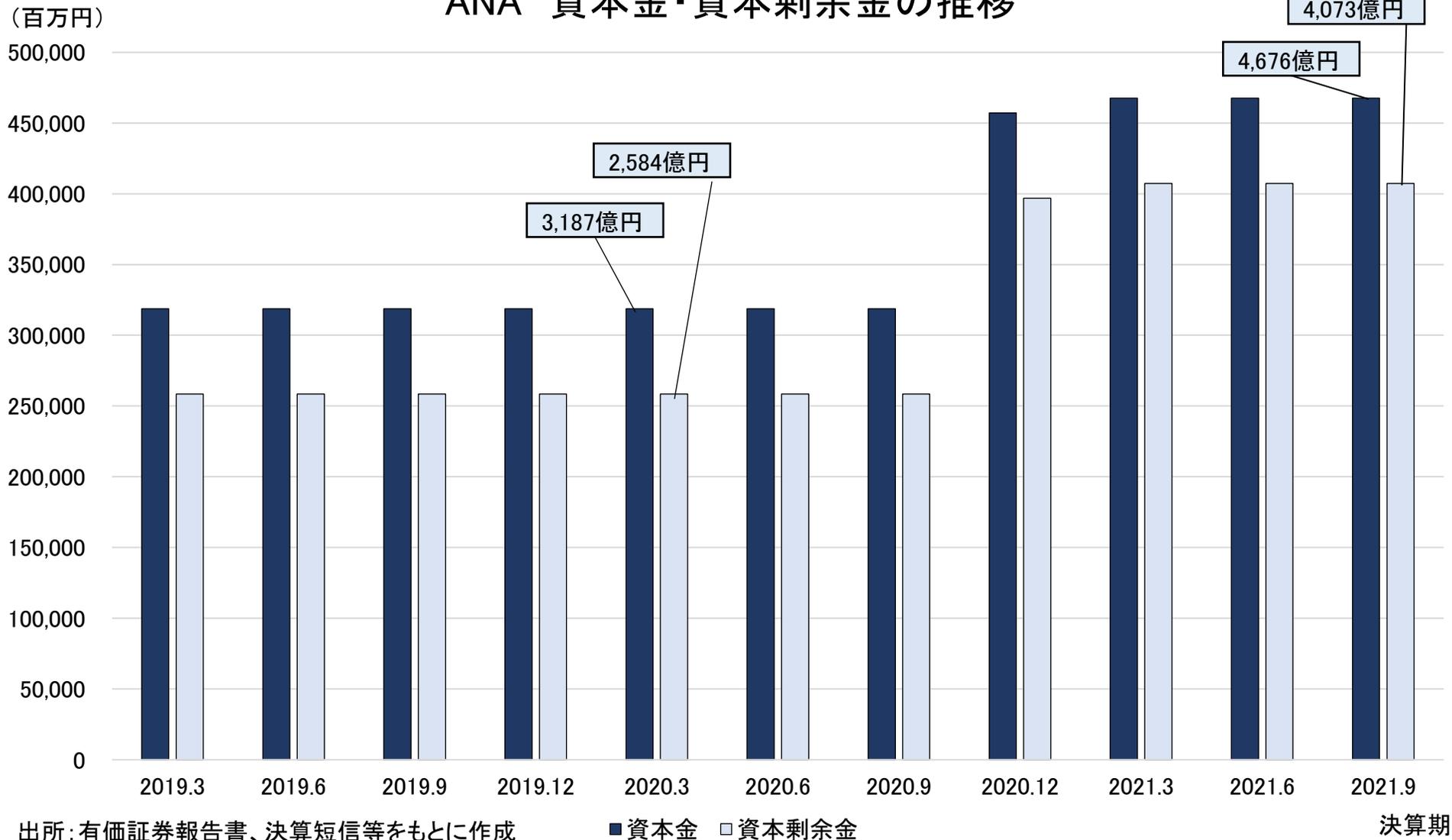
(百万円)



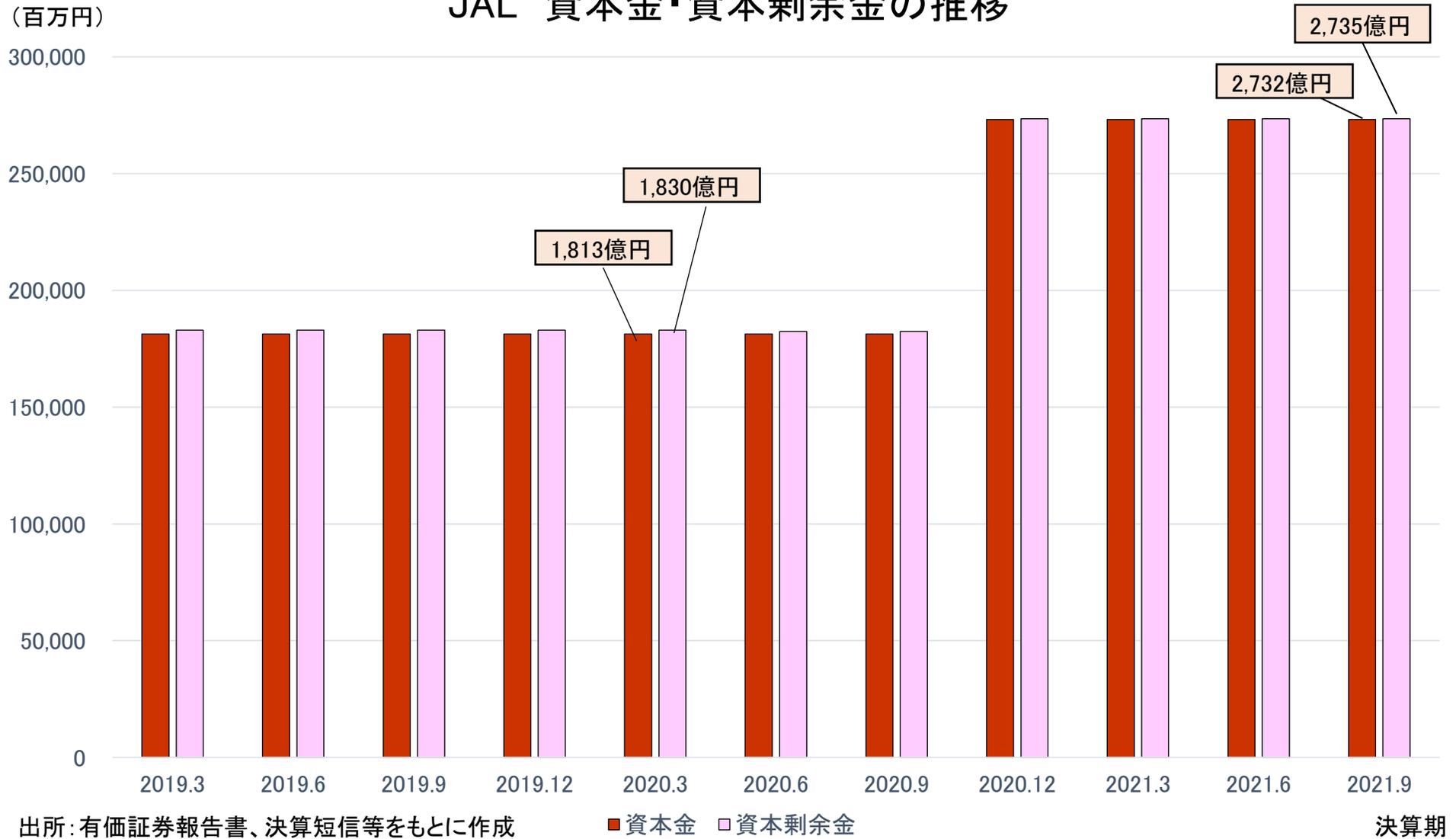
出所: 有価証券報告書、決算短信等をもとに作成

決算期

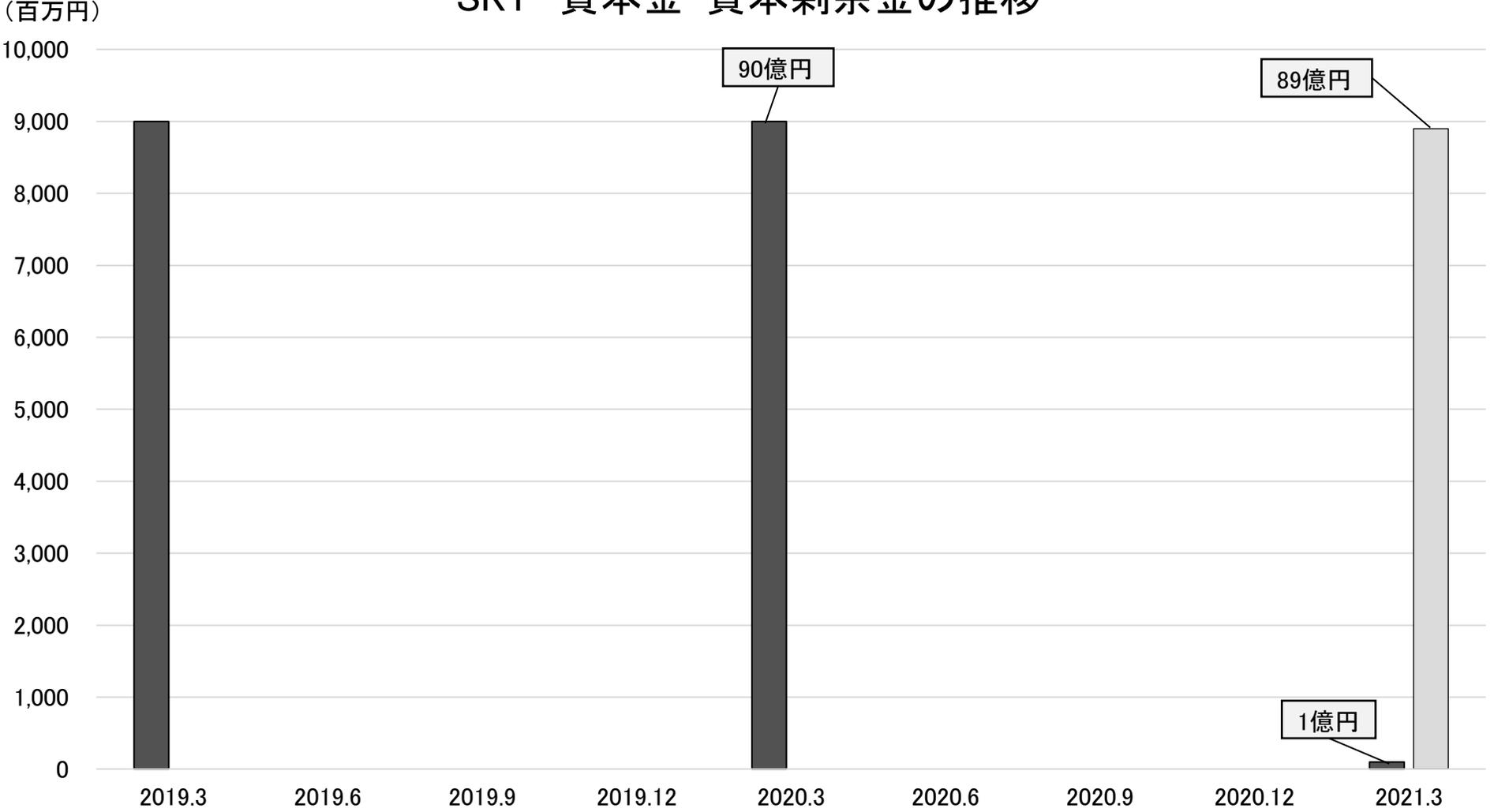
ANA 資本金・資本剰余金の推移



JAL 資本金・資本剰余金の推移



SKY 資本金・資本剰余金の推移

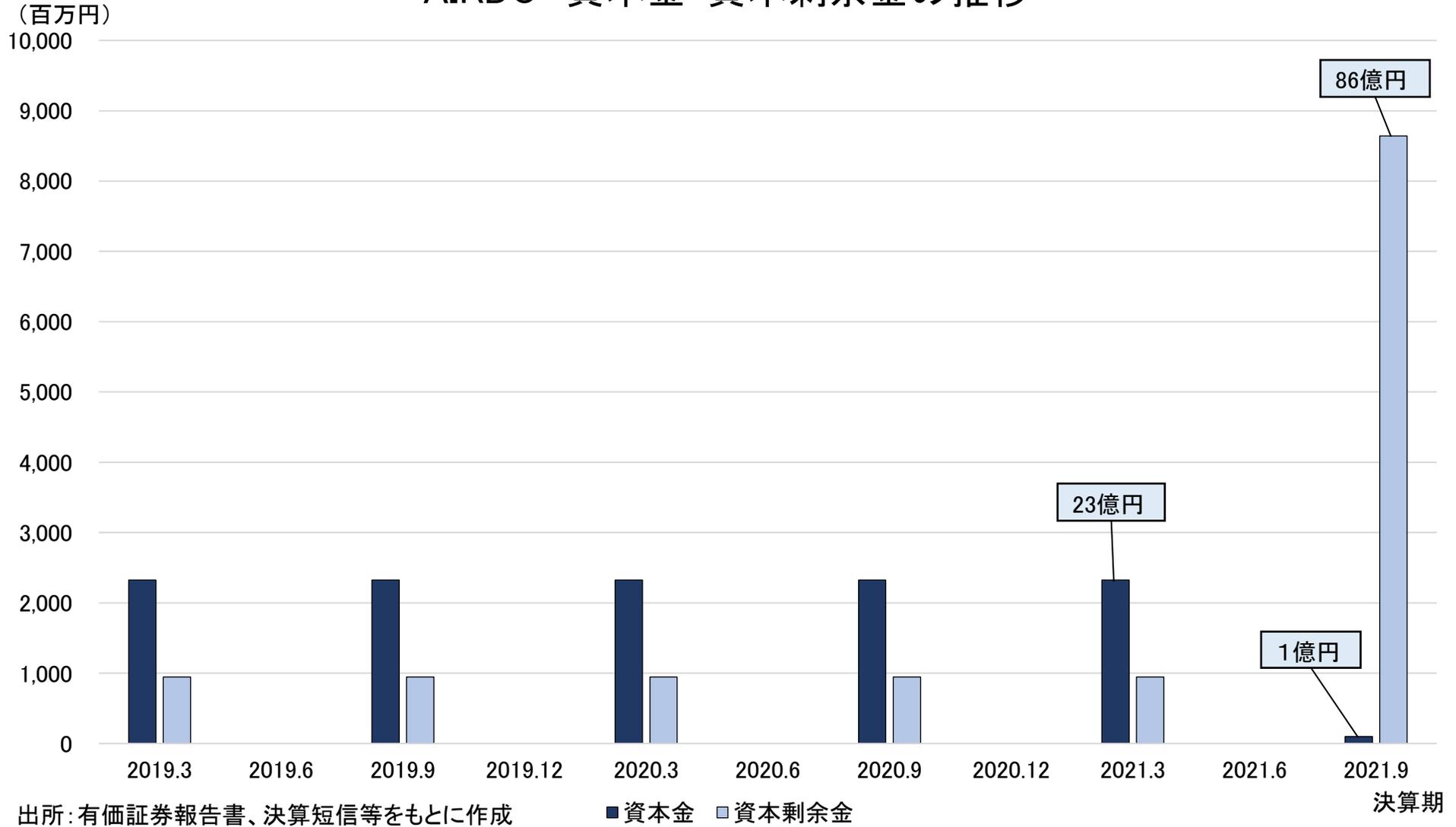


出所: 決算公告等をもとに作成

■ 資本金 □ 資本剰余金

決算期

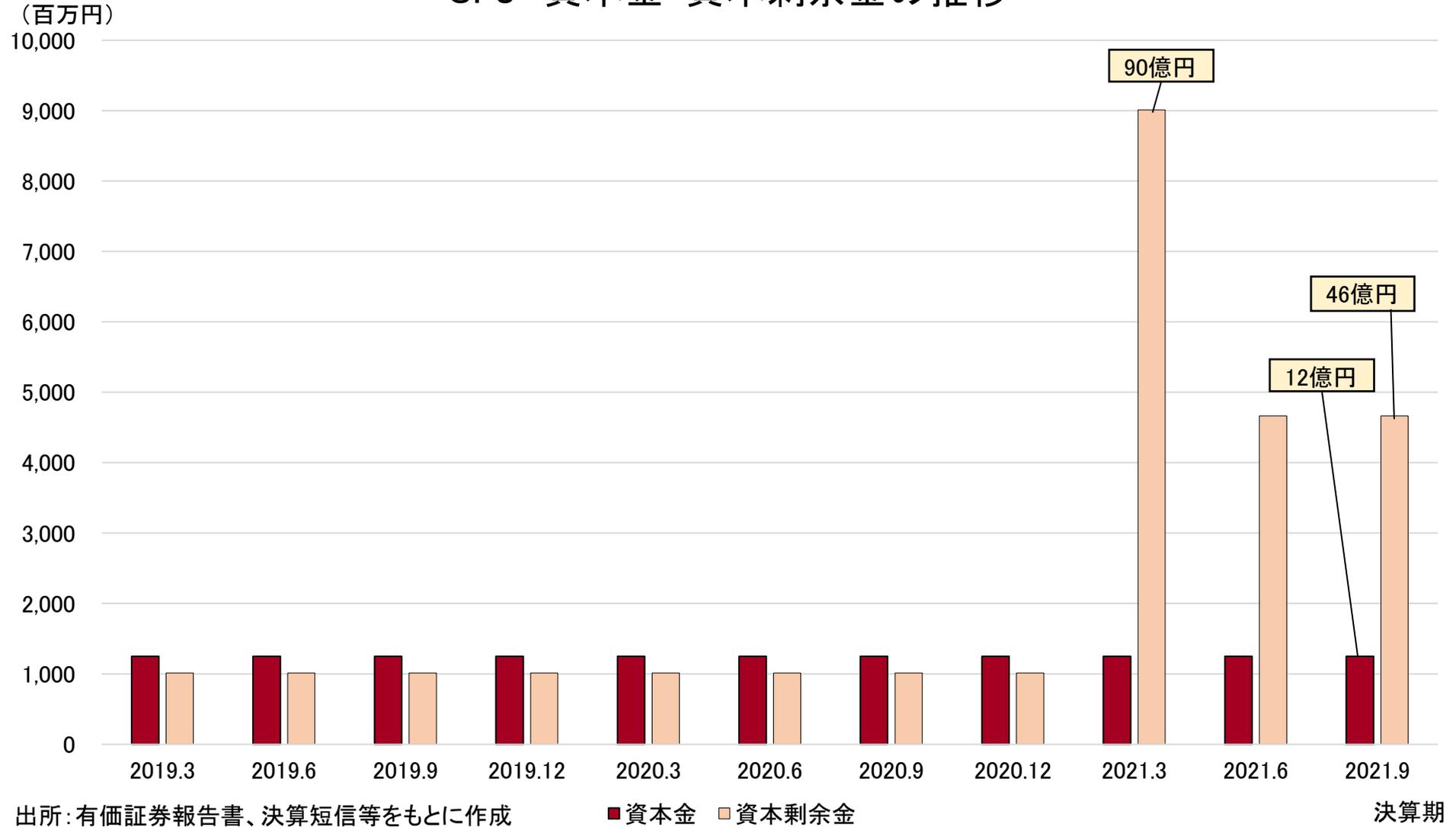
AIRDO 資本金・資本剰余金の推移



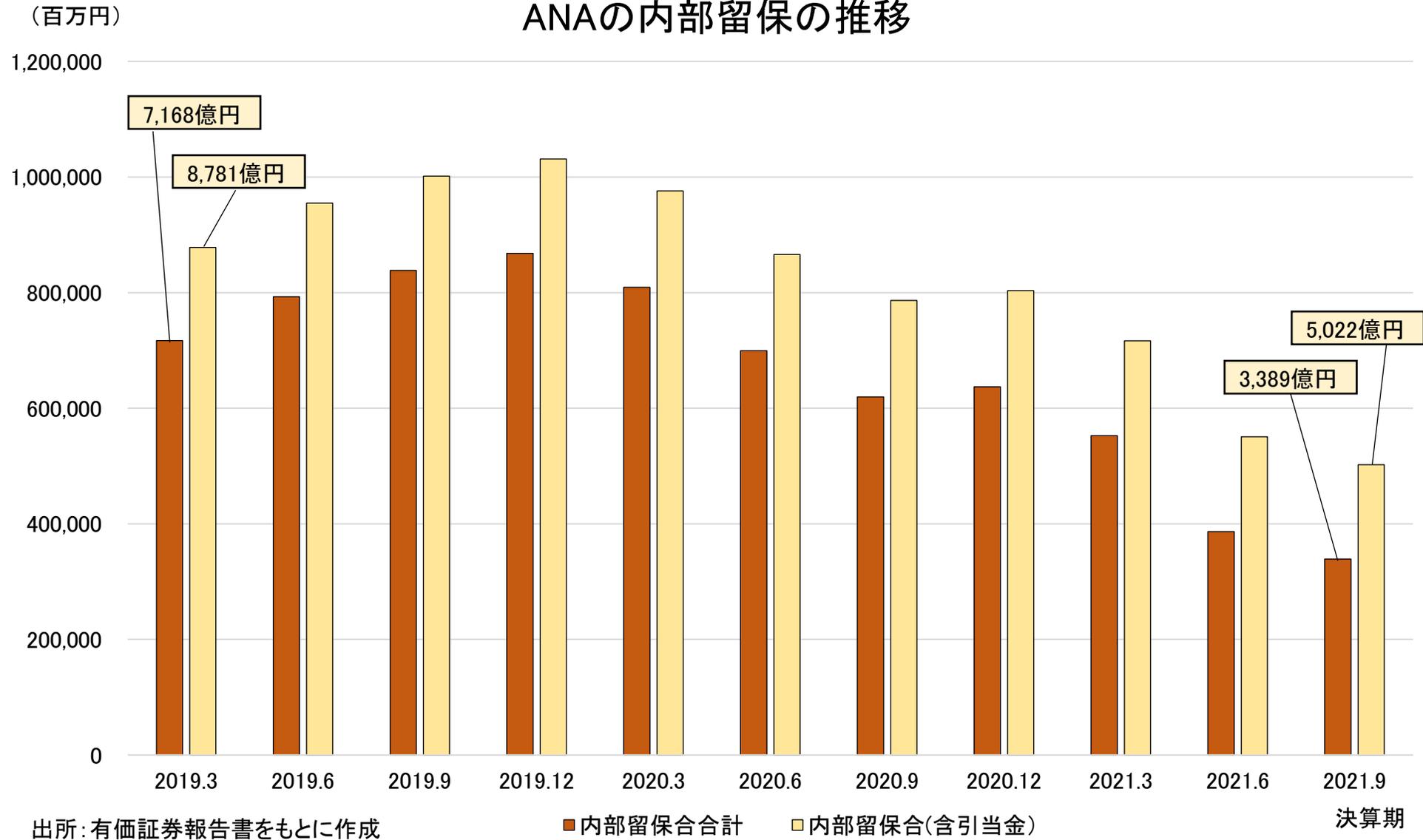
SNA 資本金・資本剰余金の推移



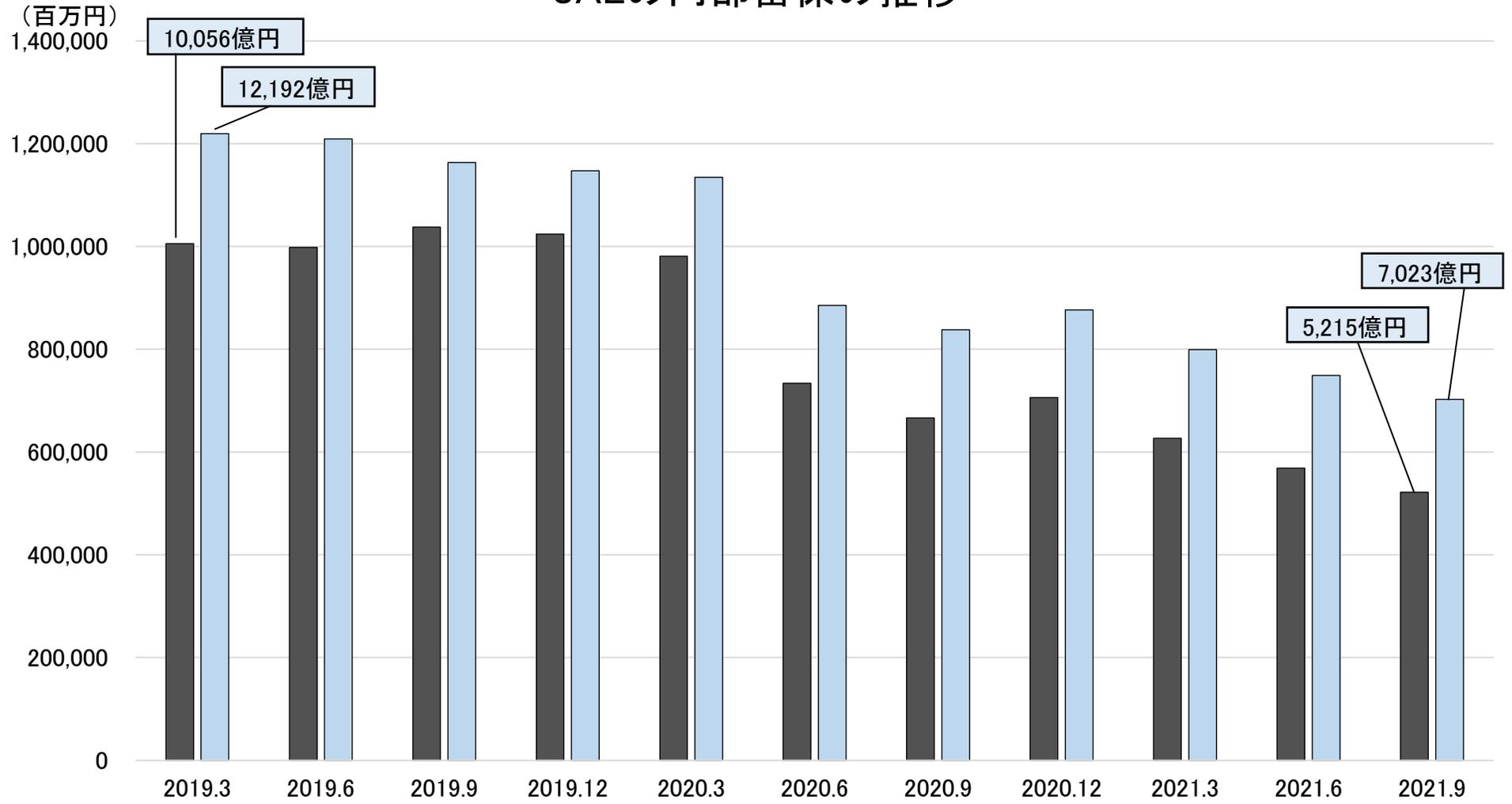
SFJ 資本金・資本剰余金の推移



ANAの内部留保の推移



JALの内部留保の推移

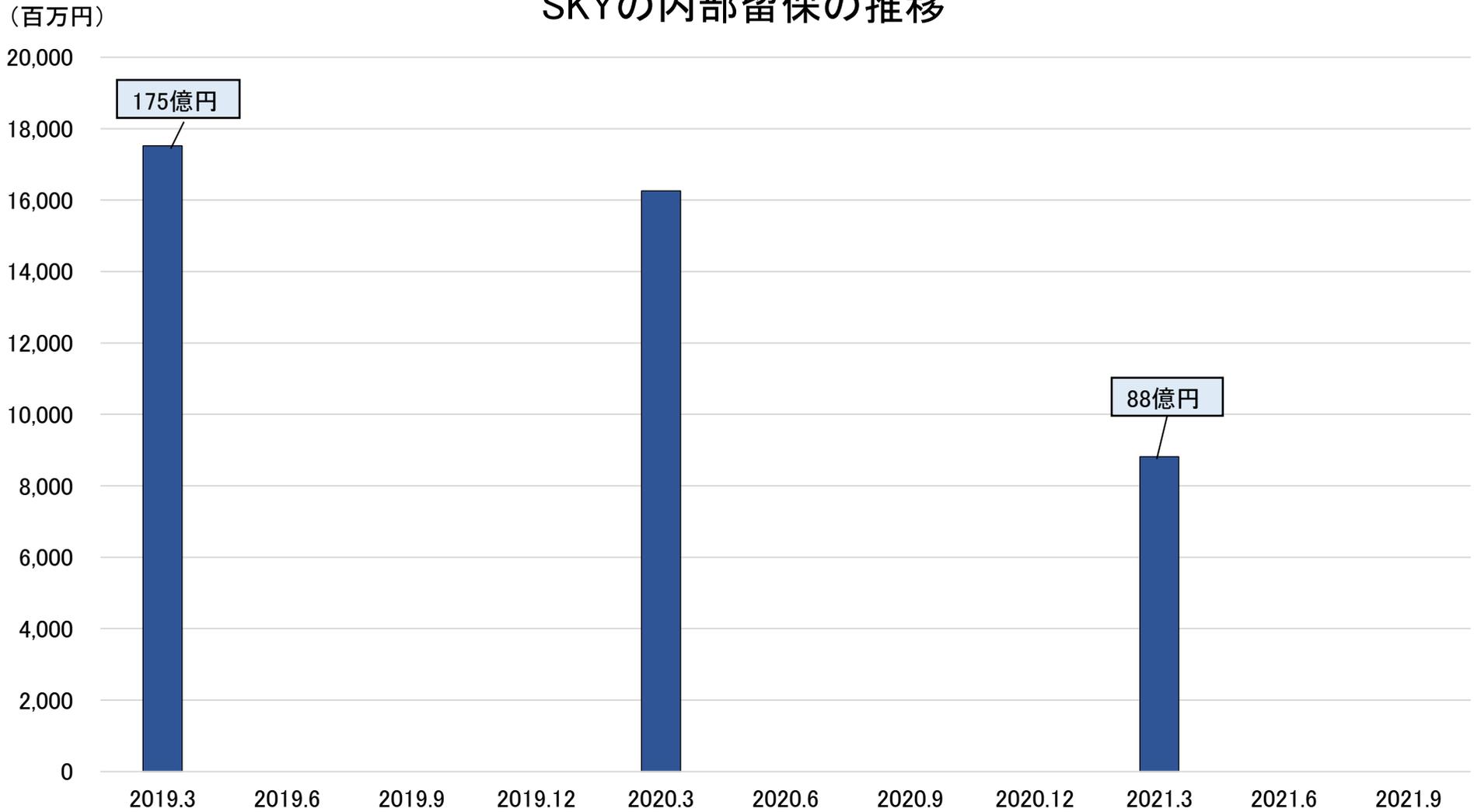


出所: 有価証券報告書、決算短信等をもとに作成

■ 内部留保 □ 内部留保(含引当金)

決算期

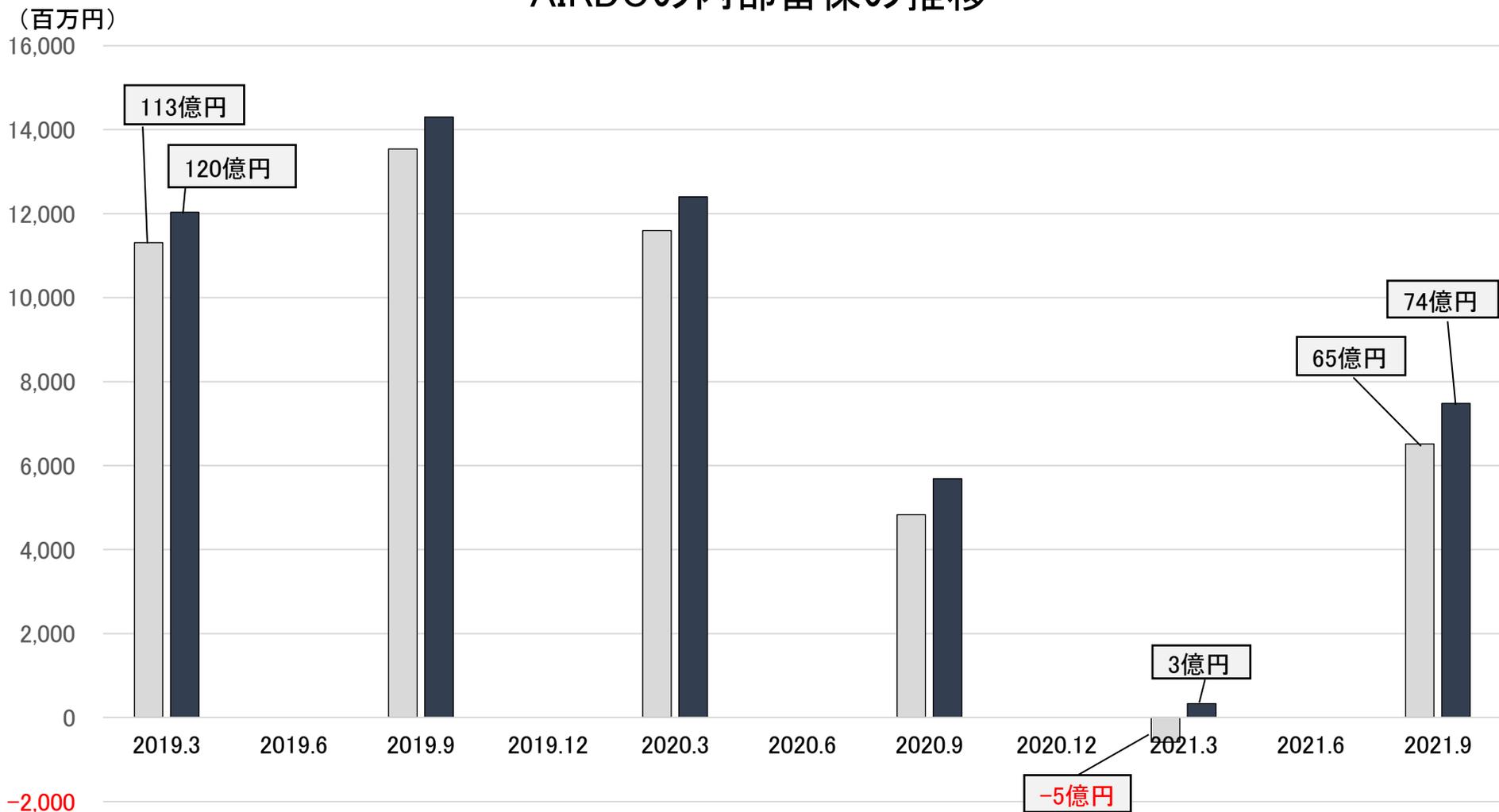
SKYの内部留保の推移



出所: 有価証券報告書、決算短信等をもとに作成 注: SKYには内部留保に算入すべき引当金等は見当たらない

決算期

AIRDOの内部留保の推移

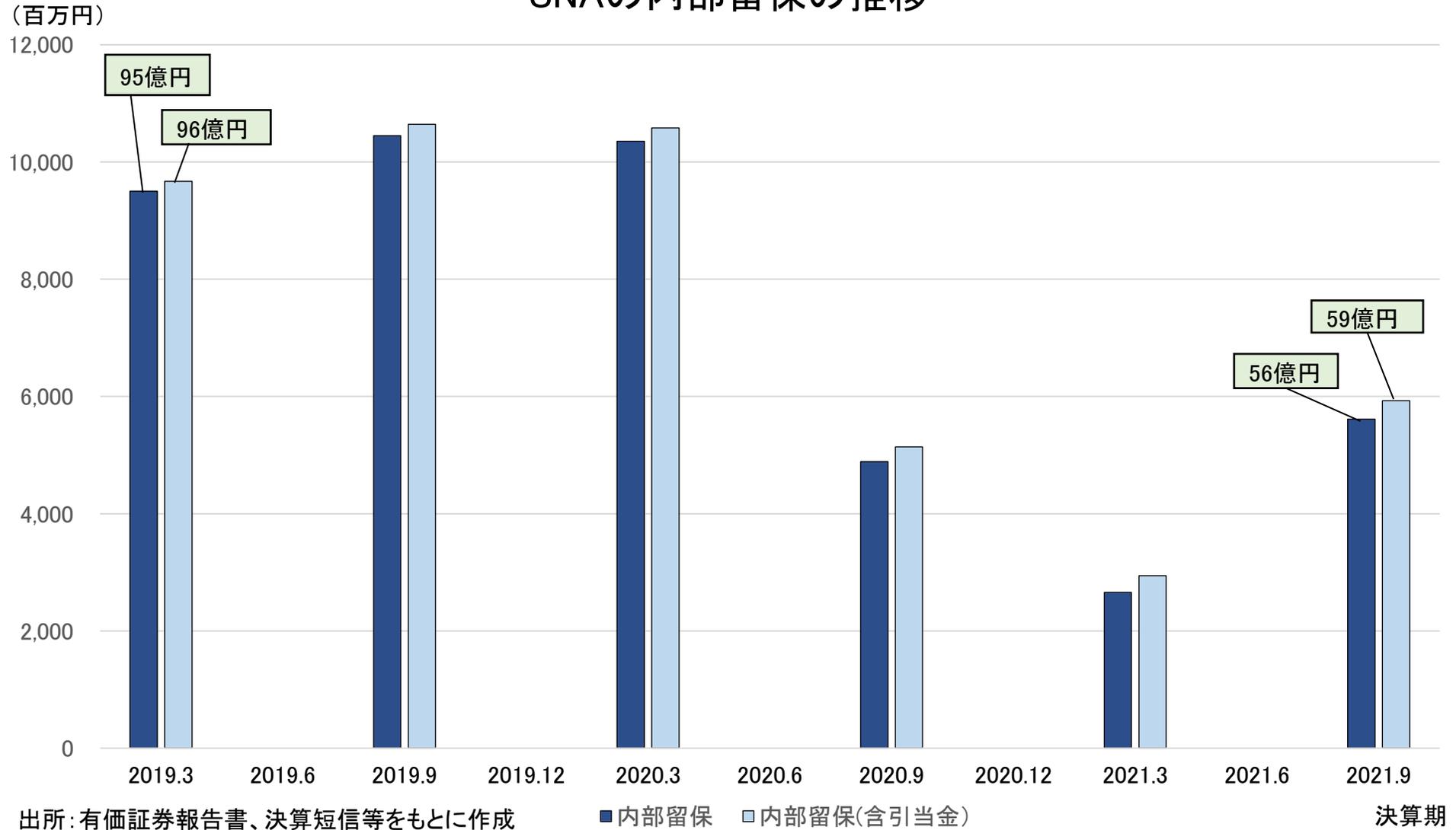


出所: 有価証券報告書、決算短信等をもとに作成

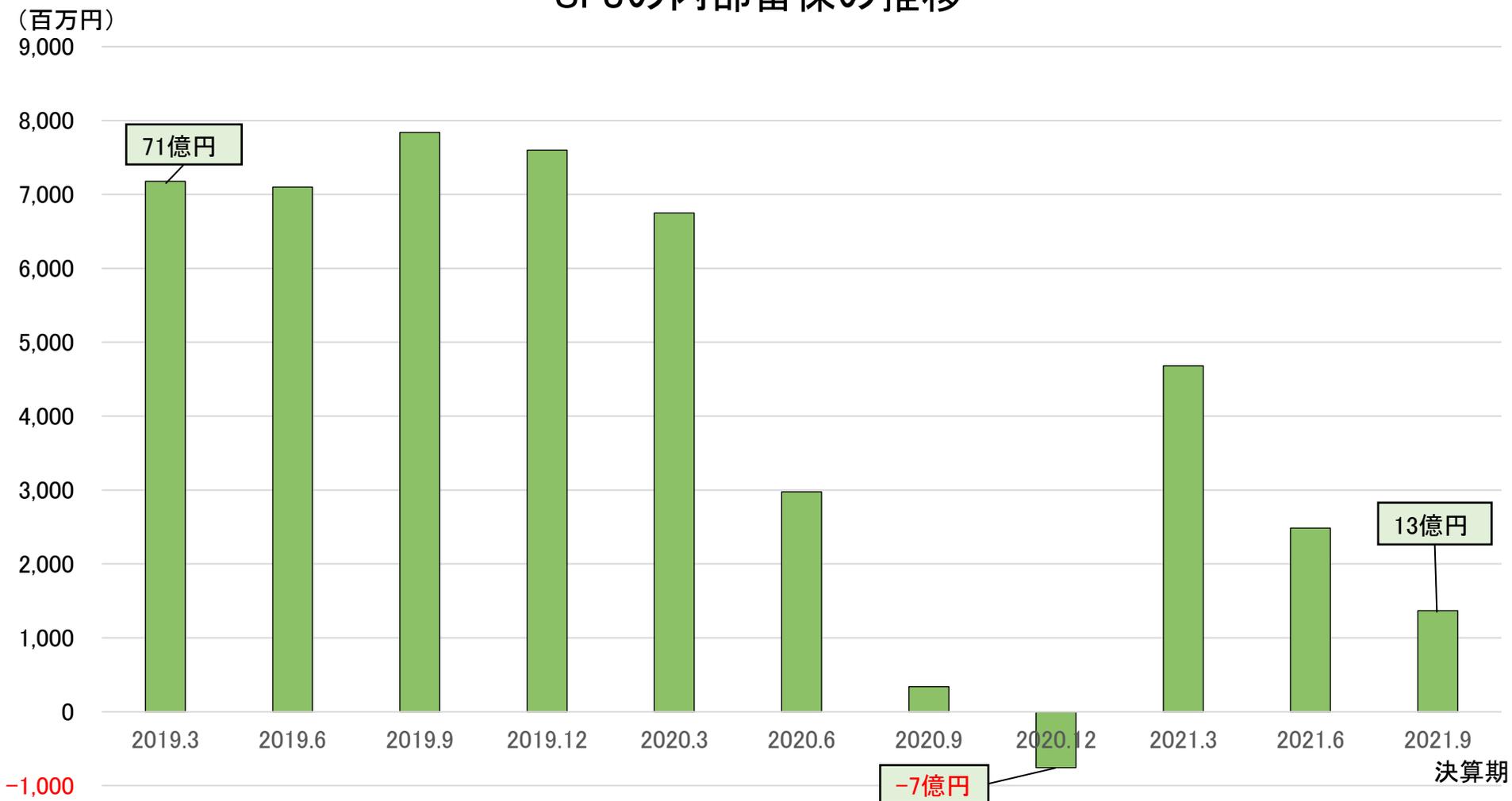
□ 内部留保 ■ 内部留保(含引当金)

決算期

SNAの内部留保の推移



SFJの内部留保の推移

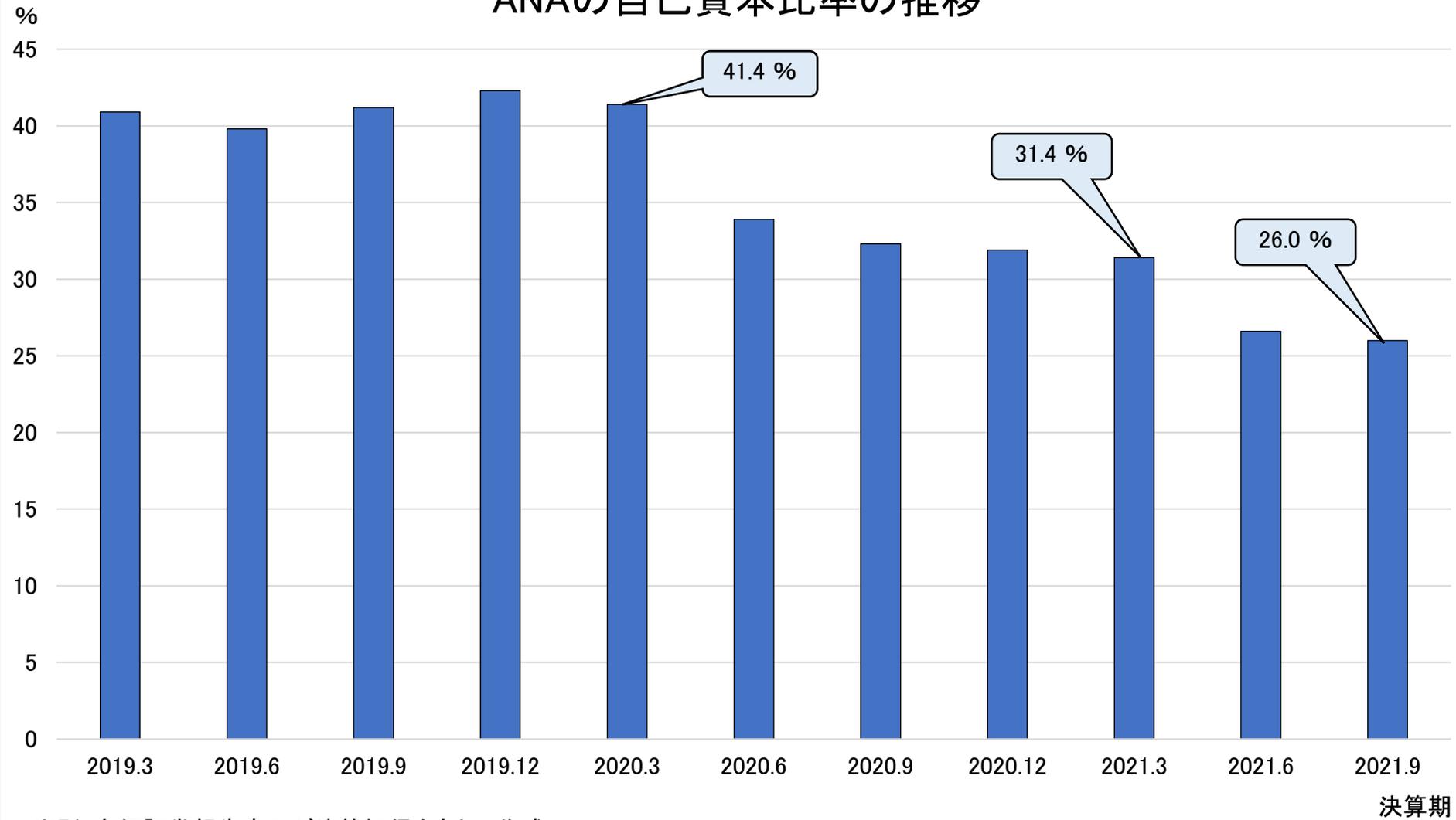


出所: 有価証券報告書、決算短信等をもとに作成 注: SFJには内部留保に算入すべき引当金等は見当たらない

3. 感染拡大の航空への影響（決算報告等から）

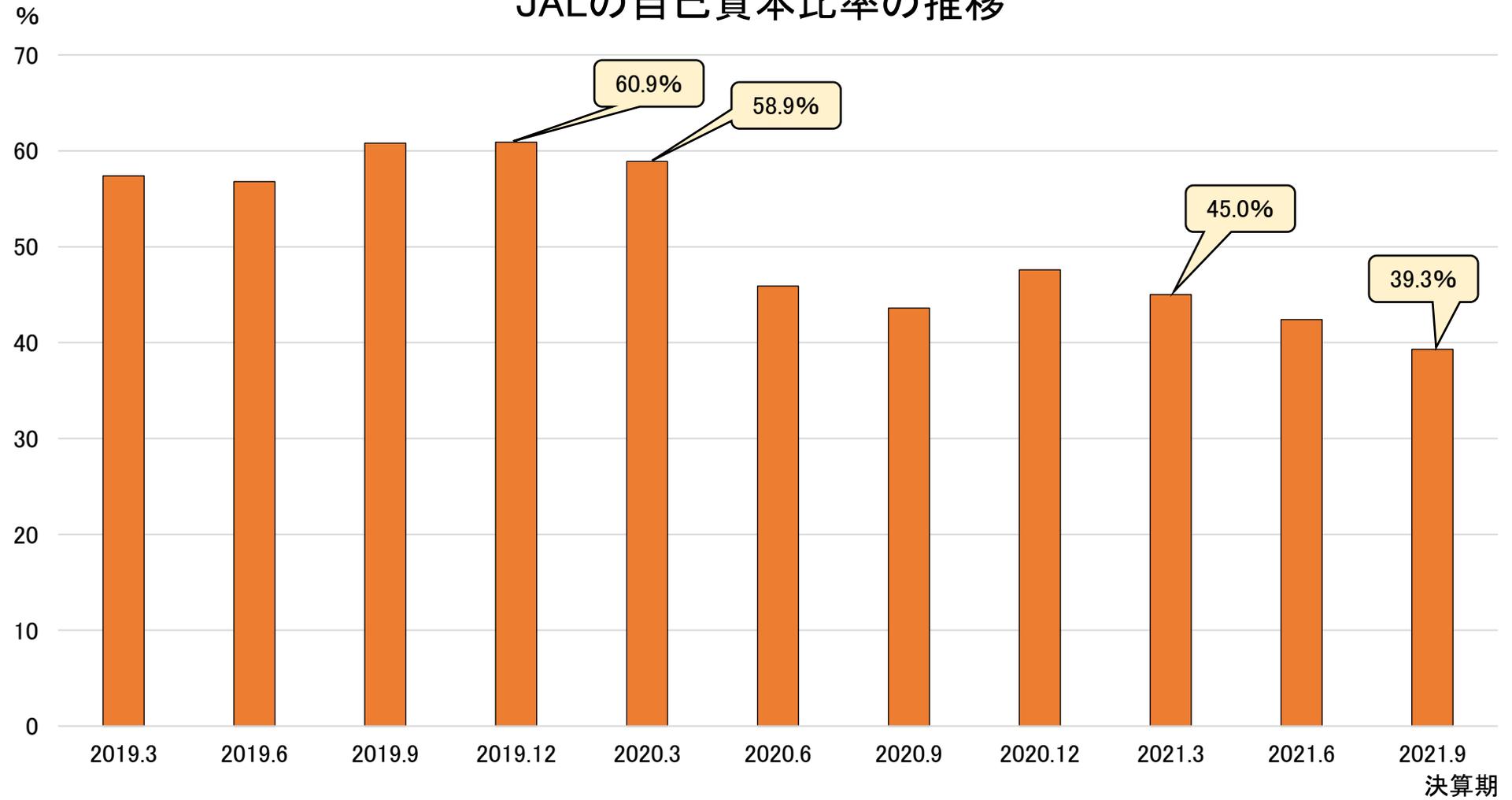
（4）経営の安全性・健全性

ANAの自己資本比率の推移



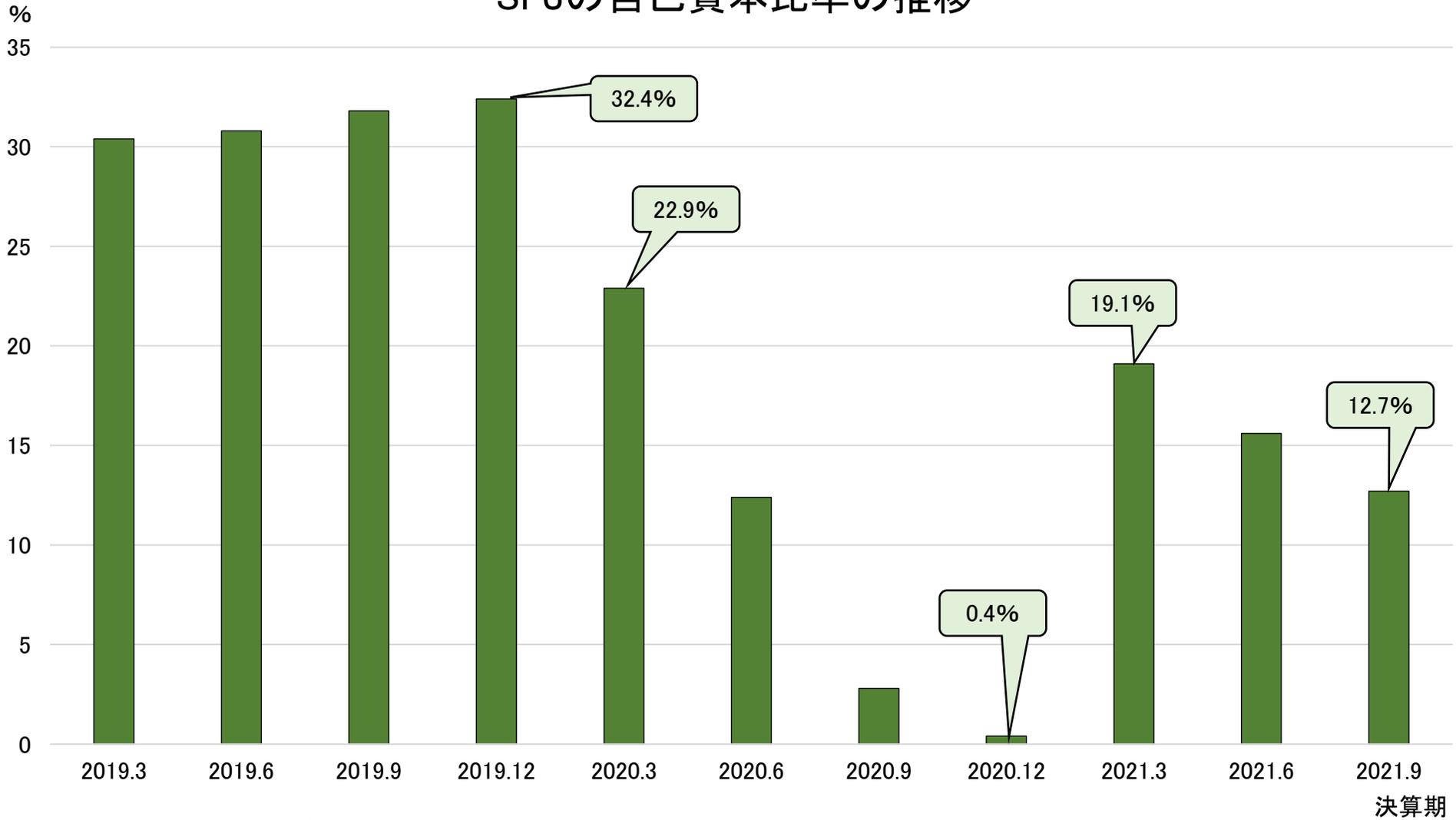
出所: 有価証券報告書及び決算短信をもとに作成

JALの自己資本比率の推移



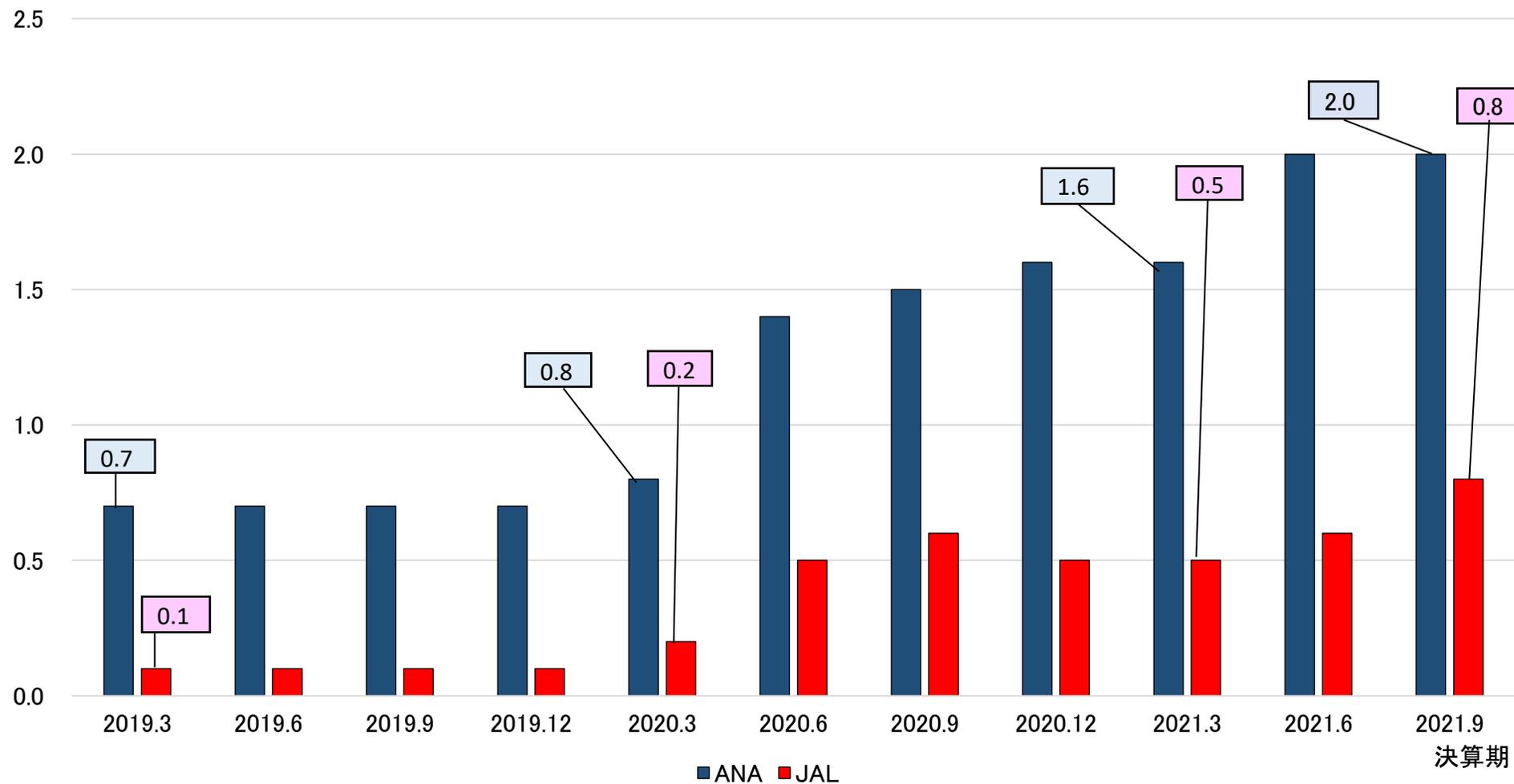
出所: 有価証券報告書及び決算短信をもとに作成

SFJの自己資本比率の推移



出所: 有価証券報告書及び決算短信をもとに作成

ANA、JALのDELレシオの推移



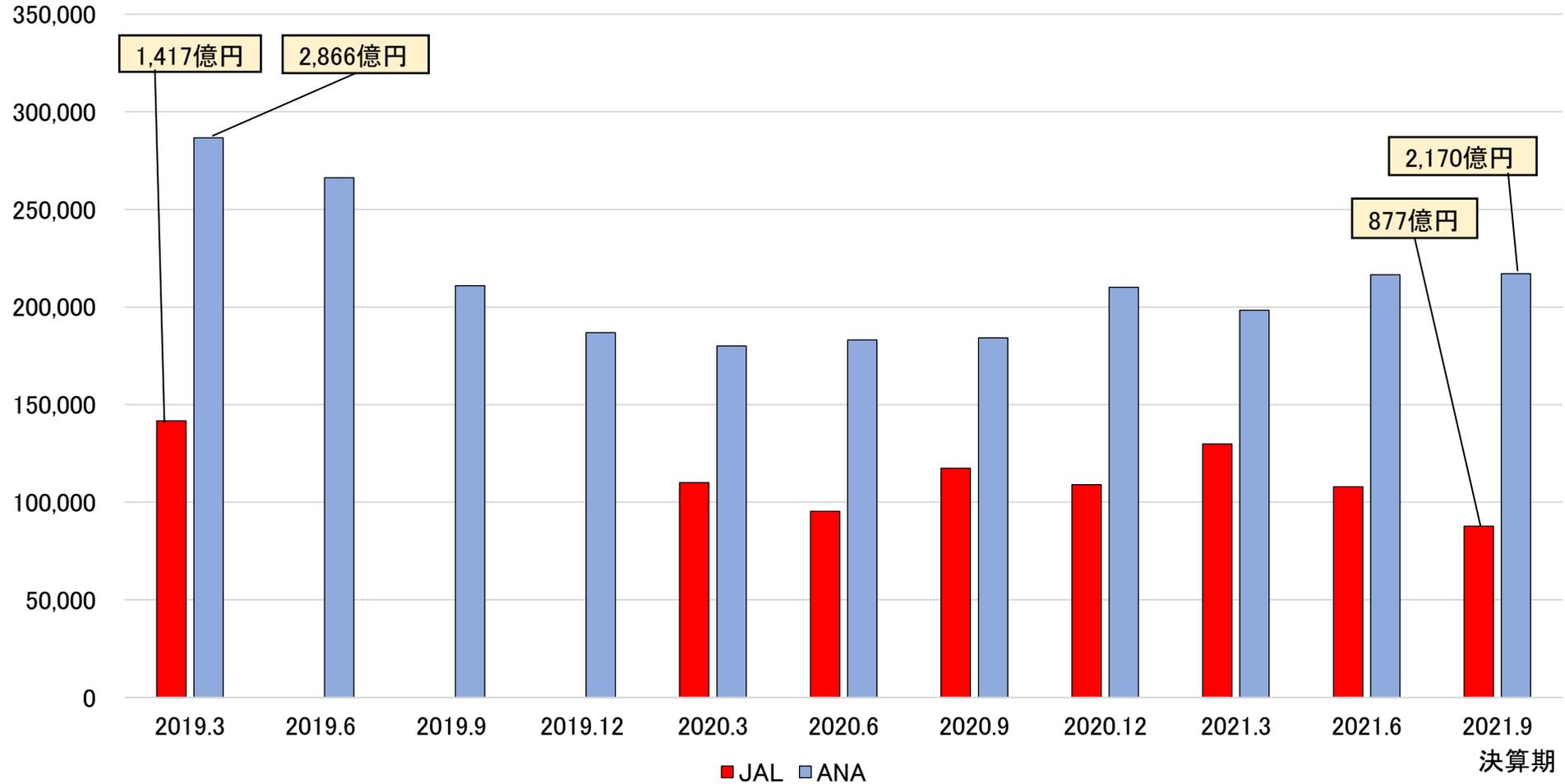
出所:各社の有価証券報告書及び決算短信をもとに作成

4. コスト削減で人員や賃金は

(1) 設備投資など

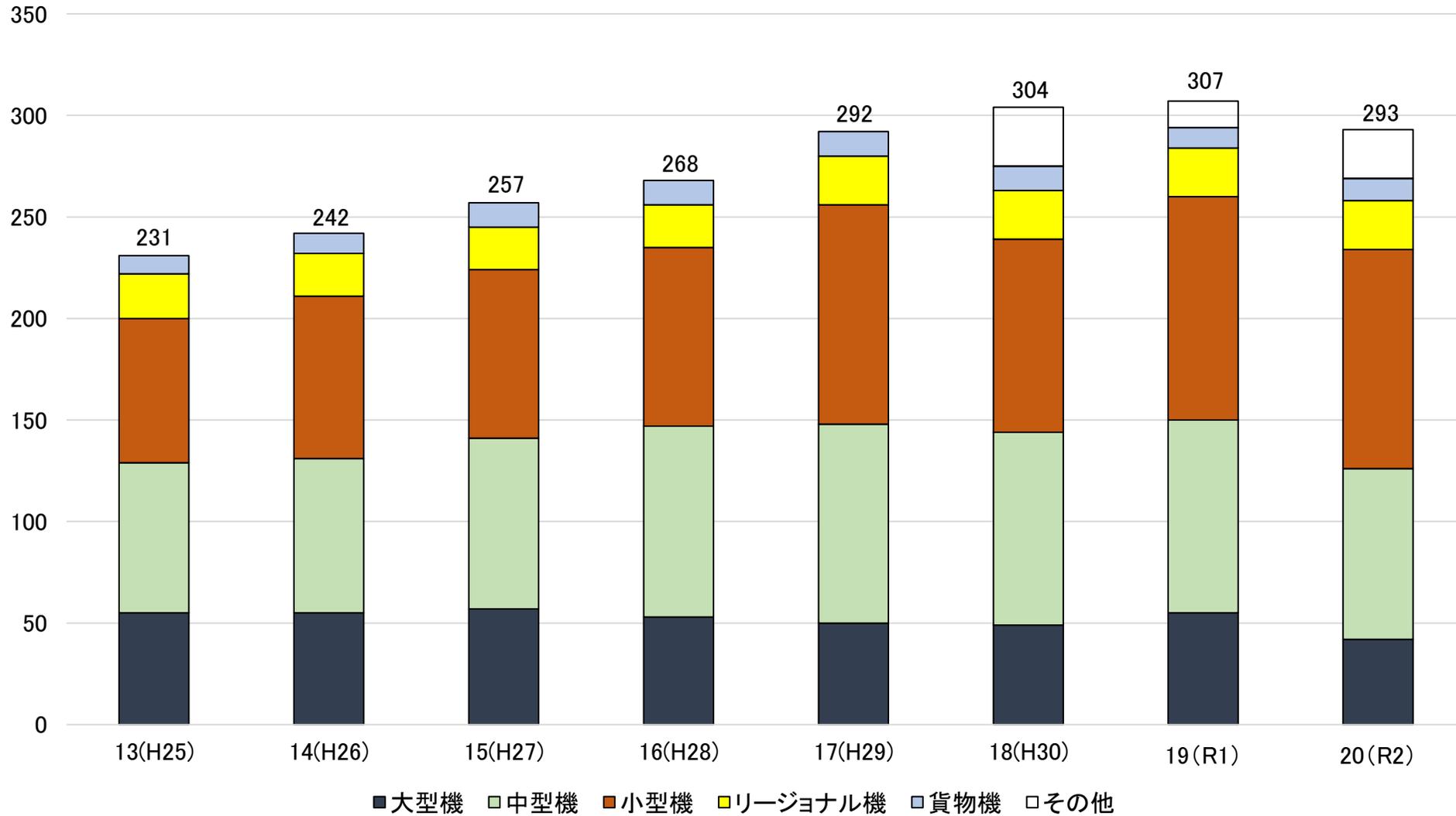
(百万円)

ANA、JALの建設仮勘定の推移

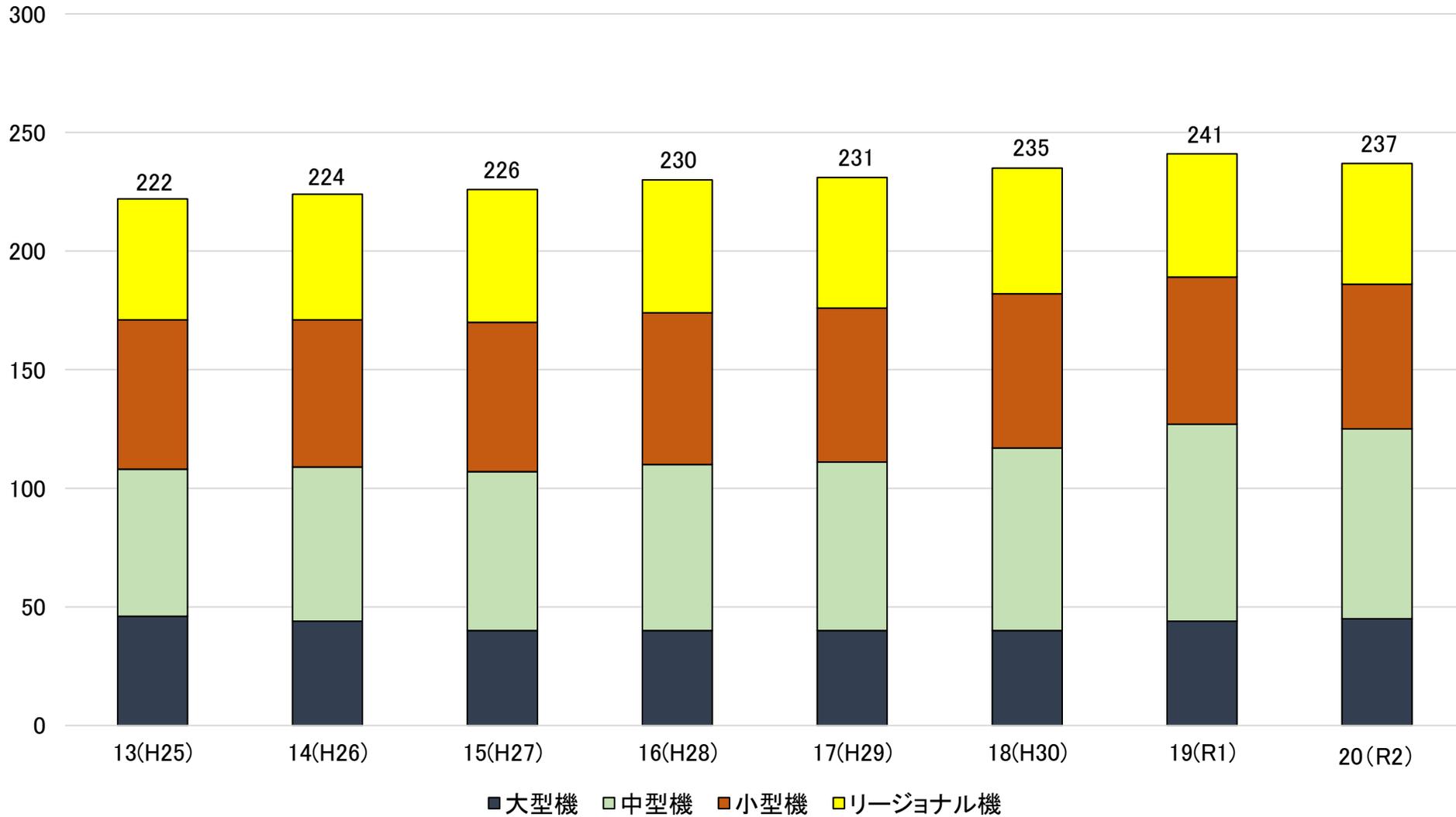


出所: 有価証券報告書、決算短信より作成。 注: JALの2019.6~2019.12については大科目で記載しているため金額が不明

ANA 保有機材の推移(含むリース機)



JAL 保有機の推移(含むリース機)

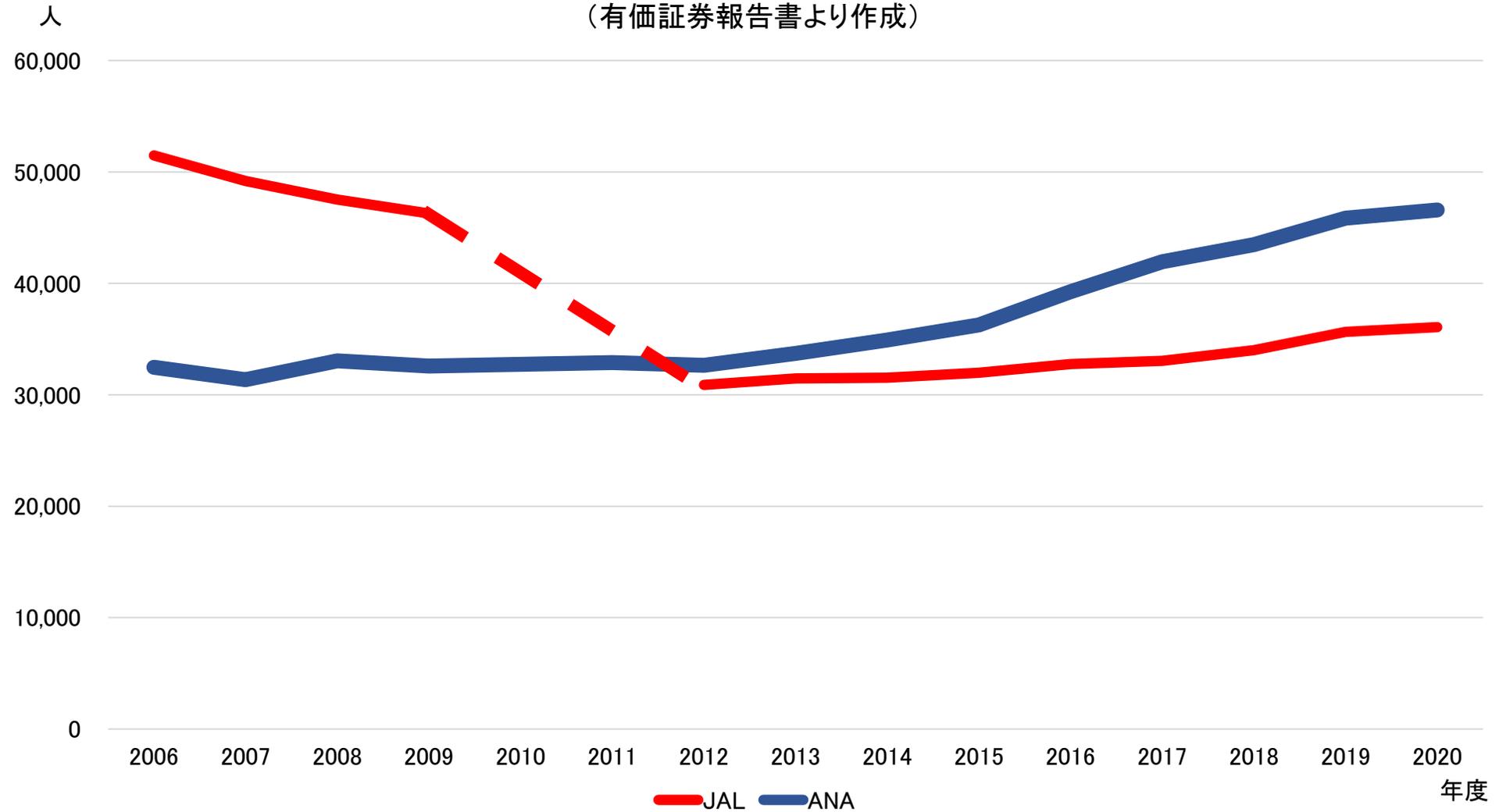


4. コスト削減で人員や賃金は

(2) 人員や賃金は

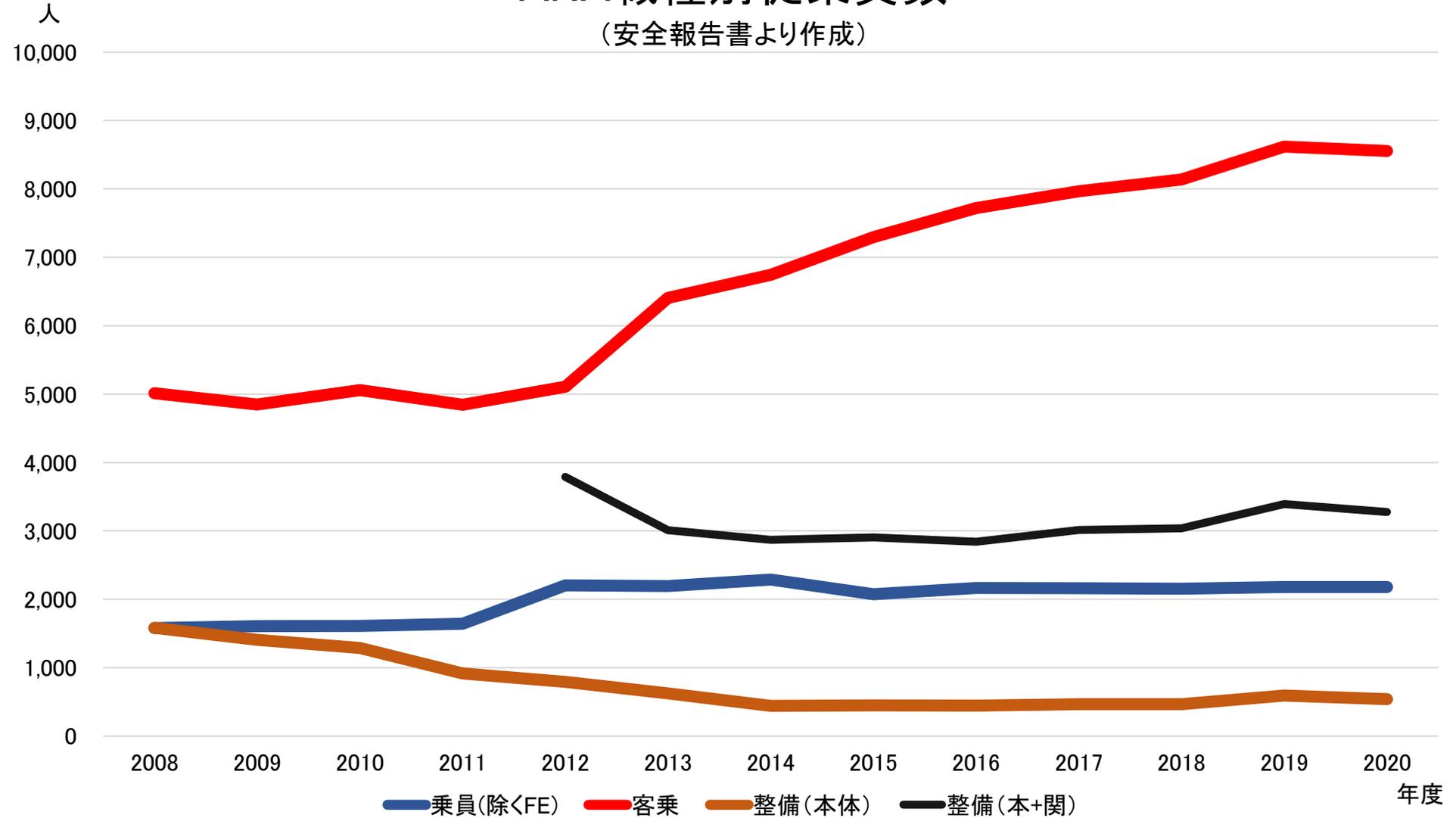
ANA・JALのグループ従業員数

(有価証券報告書より作成)



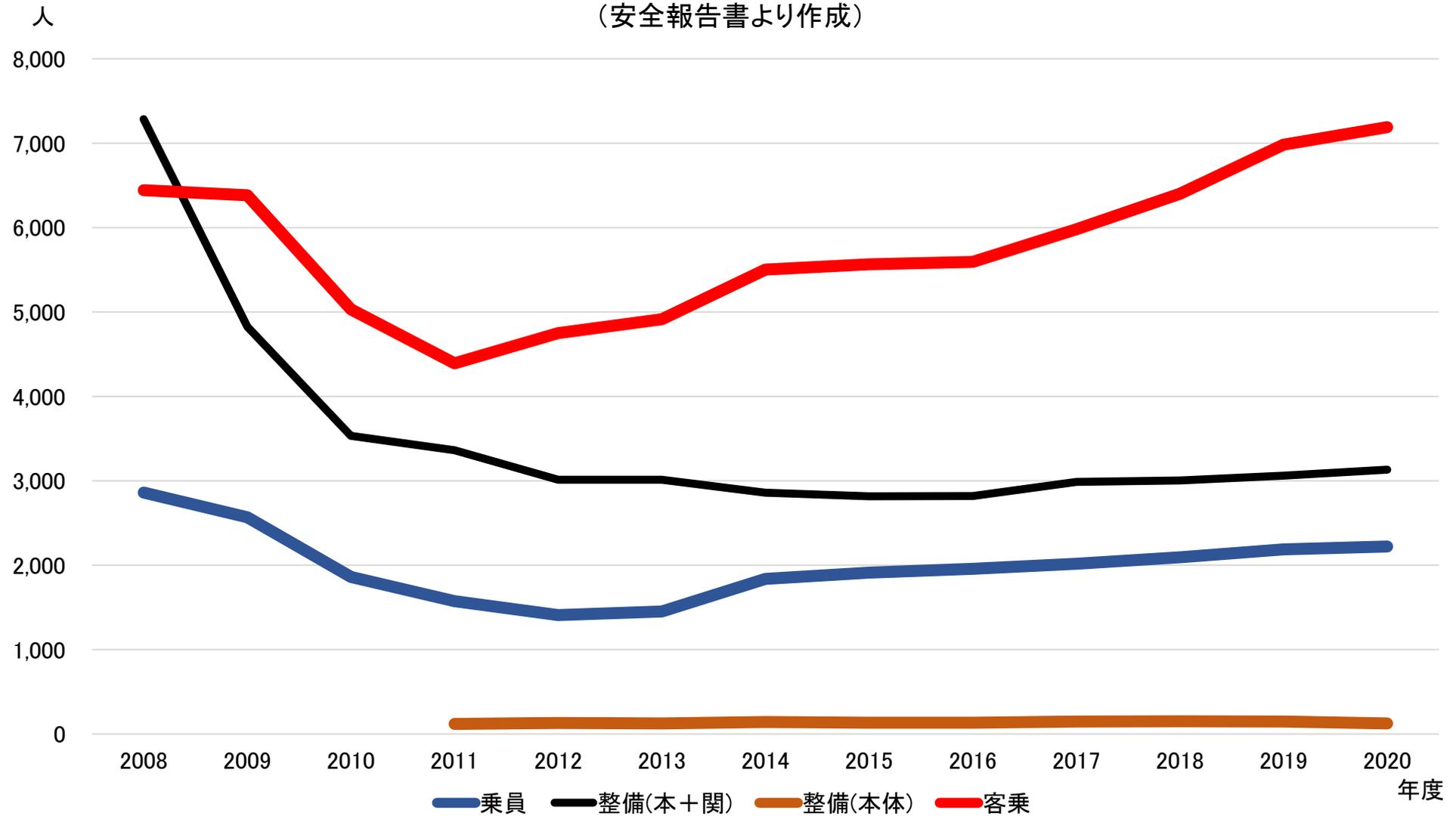
ANA職種別従業員数

(安全報告書より作成)



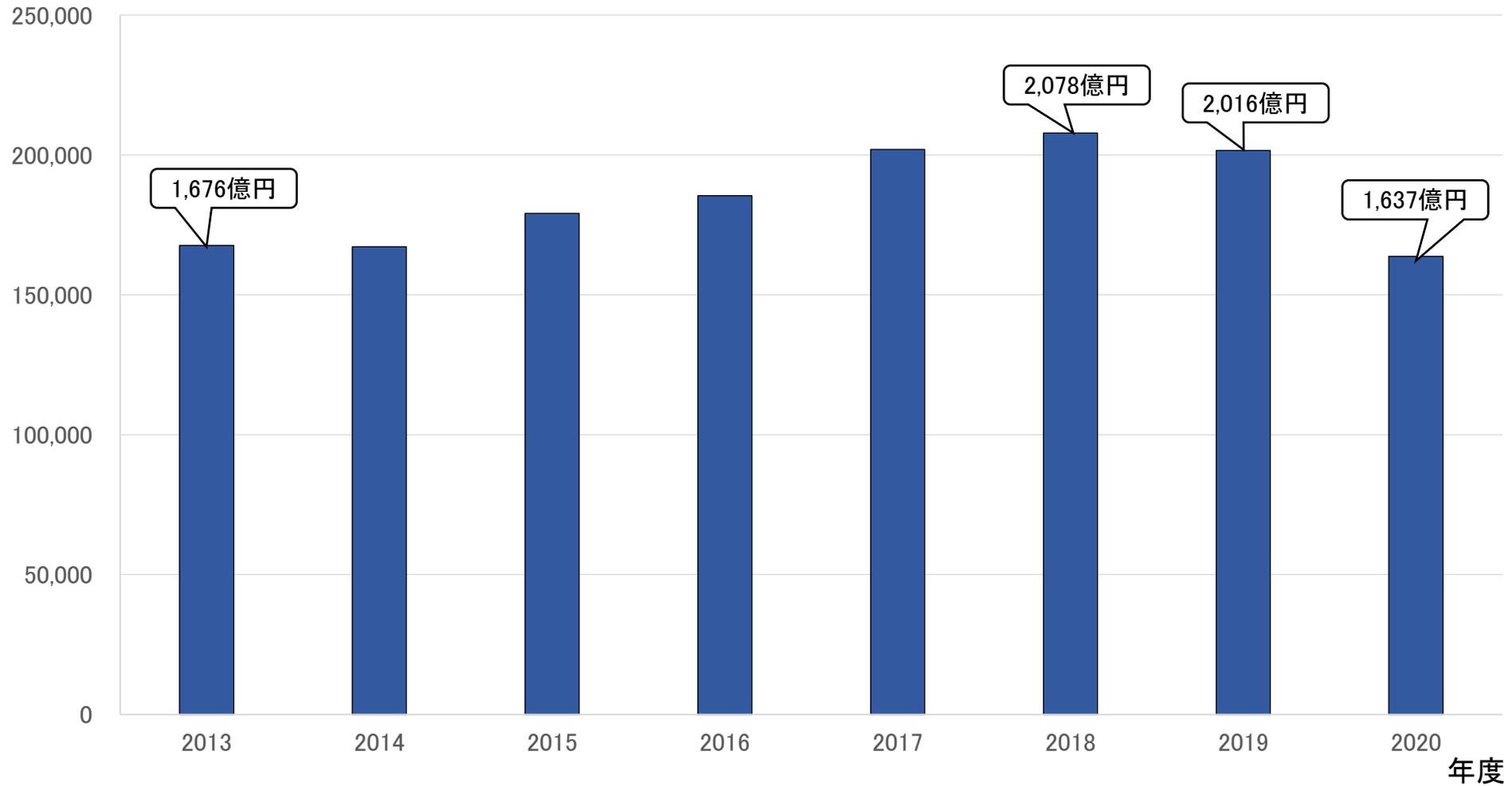
JAL職種別従業員数

(安全報告書より作成)



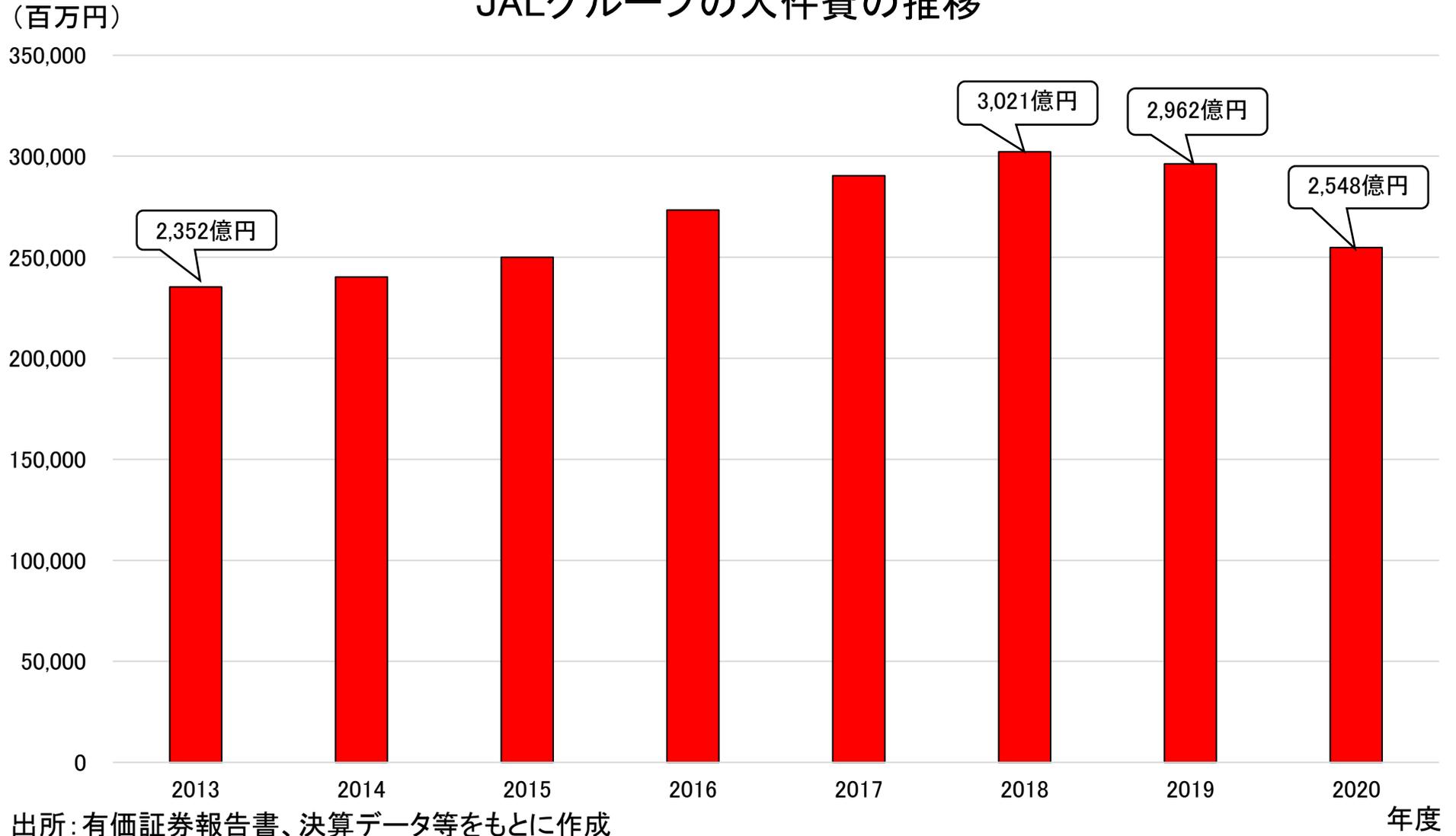
(百万円)

ANAグループ 航空運送事業(除く関連事業)の人件費の推移



出所: 統合報告書、有価証券報告書等をもとに作成

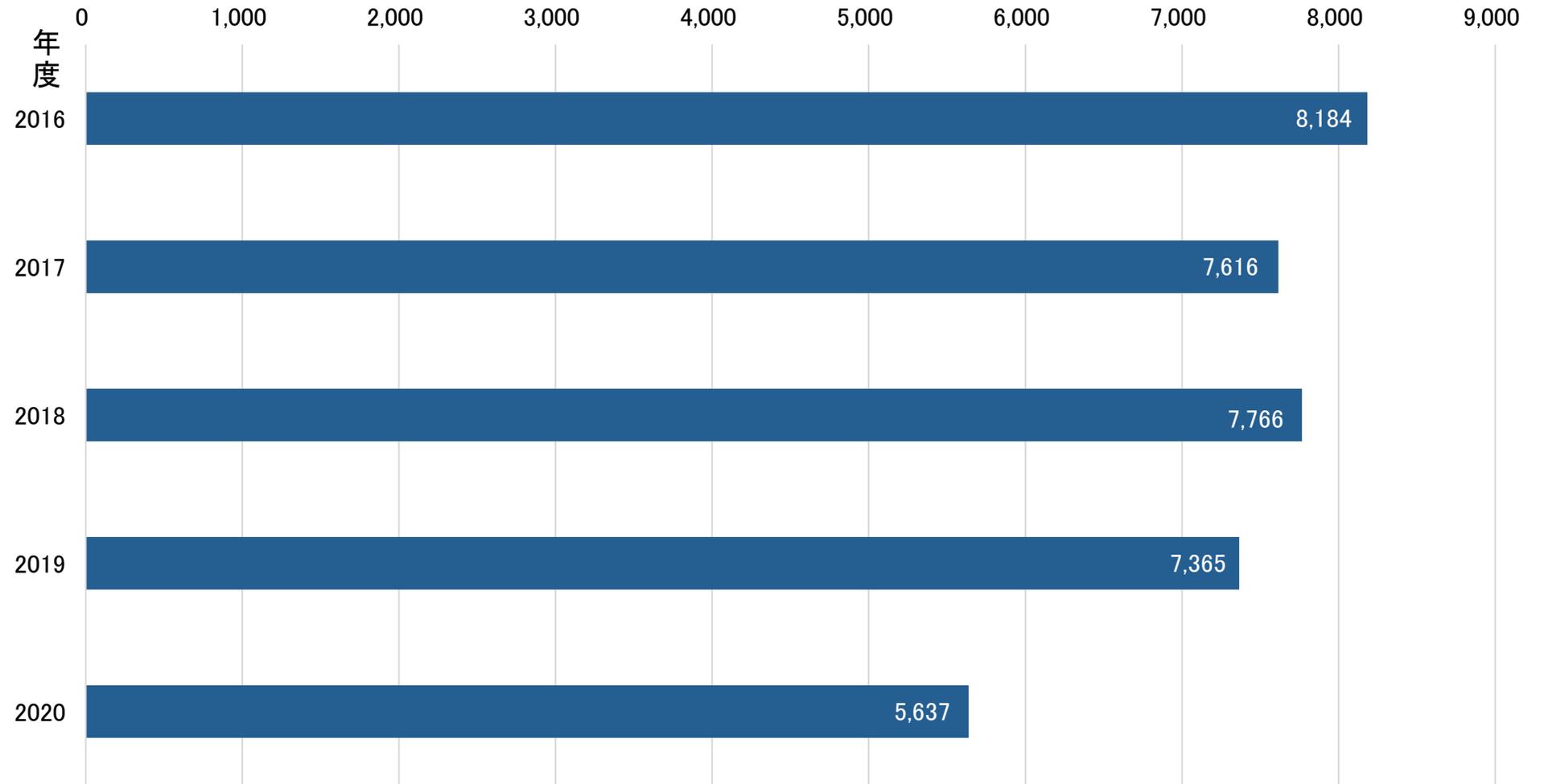
JALグループの人件費の推移



ANAHDの平均年収の推移

(有価証券報告書より)

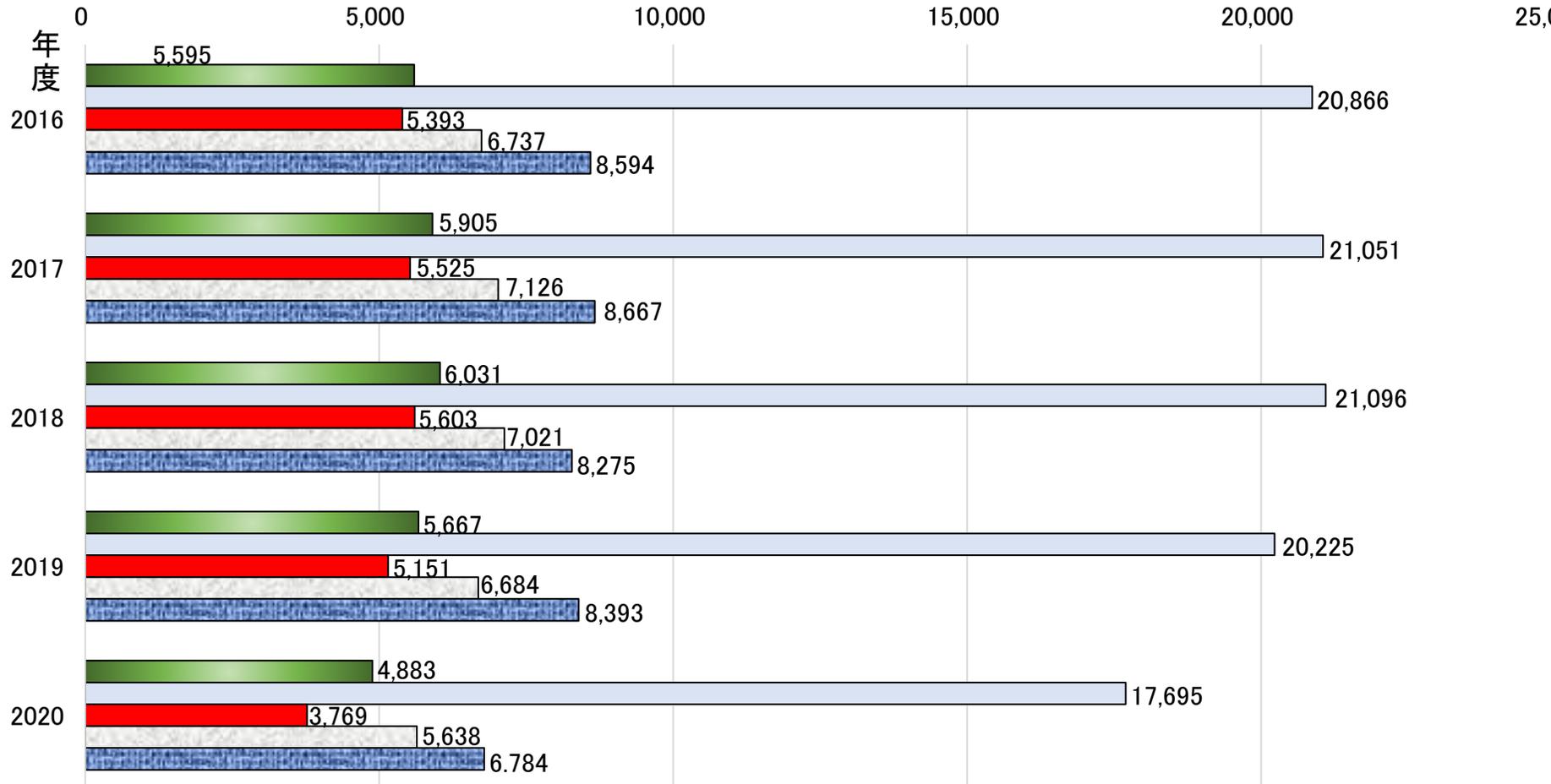
(千円)



JALグループ 職種別平均年収の推移

(有価証券報告書より)

(千円)
25,000



■地上職 □運航乗務員 ■客室乗務員 □従業員平均 ■本体平均賃金

5. 今後の見通しと私たちの運動

(1) IATA等の見通し

(2) 22年度は増・収増益に踏み出す年度に

5. 今後の見通しと私たちの運動

(3) 運動で重視すべき点

- 続いているコロナ感染への対応
 - ・感染防止対策の徹底と継続
 - ・ワクチン接種の推進とPCR検査
 - ・スムーズな出入国の体制
- 復便・増便に対応し、安全を確保する職場体制の確立
 - ・人員の確保と技量の向上等
- 増収増益を目指した新たな「合理化」を許さない構え
- 自動化などの新たな課題への対応
- 安心して安全運航を支えるための労働条件の確保